

令和元年 8 月

教育委員会定例会議案等

新潟市教育委員会

令和元年8月教育委員会定例会議事日程

新潟市教育委員会

日 時	令和元年8月30日（金） 午後3時30分 開会
場 所	新潟市役所白山浦庁舎5号棟3回 教育会議室1
日 程	<p>第1 会議録署名委員の指名</p> <p>第2 付議事件</p> <p>議案第15号 令和元年9月議会定例会の議案について</p> <p>（1）令和元年度新潟市一般会計補正予算について……………1</p> <p>（2）新潟市立幼稚園条例の一部改正について……………3</p> <p>（3）新潟市教育職員給与条例の一部改正について……………9</p> <p>（4）新潟市公民館条例の一部改正について……………13</p> <p>議案第16号 教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する 点検・評価報告書の議会報告について……………18</p> <p>議案第17号 2020年度使用 新潟市立高等学校用教科用図書 の採択について……………42</p> <p>議案第18号 2020年度使用 新潟市立高志中等教育学校 後期課程用教科用図書の採択について……………58</p> <p>第3 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度新潟市奨学生等の選考結果について……………1 ・令和元年度全国学力・学習状況調査の結果について……………4 ・新潟市教育委員会組織規則の一部改正について……………8 <p>第4 次回日程</p> <p>9月定例会 令和元年 9月12日（木）午後3時30分</p> <p>10月定例会 令和元年 10月23日（水）午後3時30分</p> <p>11月定例会 令和元年 11月21日（木）午後3時30分</p> <p>12月定例会 令和元年 12月20日（金）午後3時30分</p> <p>第5 閉会</p> <p>第6 協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学区域変更に関する要望書について……………1

付議事件

市議会に上程前のため、非公開での実施を予定しております。
議会開催（9月13日）まで取扱いにご注意くださいますようお願いいたします。



議案第15号

令和元年9月議会定例会の議案について

令和元年9月議会定例会の議案について市長より意見を求められたため、その意見について議決を求める。

令和元年8月30日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

(1) 令和元年度新潟市一般会計補正予算について

【学務課】新潟市教育ネットワーク基盤の構築及び統合型校務支援システム構築事業

(1) 事業概要

新潟市教育ネットワーク基盤の構築及び統合型校務支援システムの構築に係り、新たに必要予算を計上するもの。

(2) 一般会計予算補正額（予定）

歳出の部

新潟市教育ネットワーク基盤の構築及び統合型校務支援システム構築事業

・・・歳出予算補正 186,000千円

※繰越明許費設定 186,000千円

新潟市教育ネットワーク基盤の構築及び 統合型校務支援システムの導入について

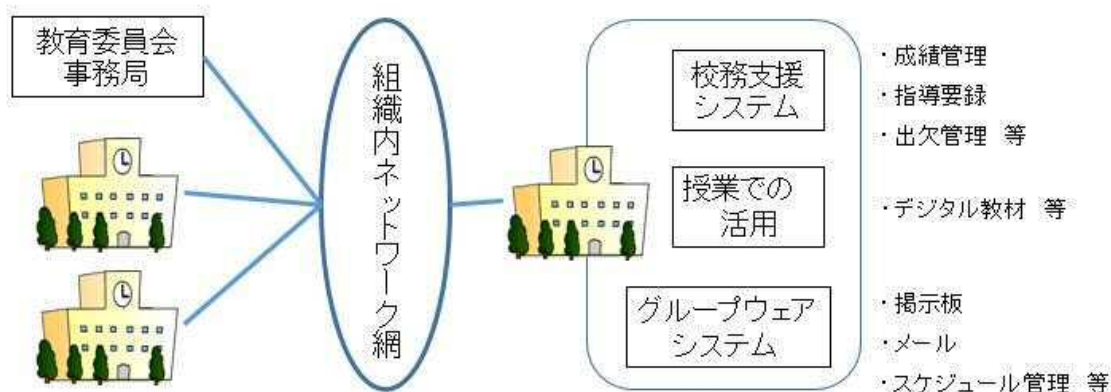
1. 事業の概要

教育委員会と各学校間をネットワークで結ぶ教育ネットワーク基盤の構築及び、成績管理や出欠管理などの校務を効率化する統合型校務支援システムを導入します。

教育ネットワーク基盤を構築することで、学校での情報セキュリティが向上するほか、情報共有が進み、教材の有効活用や会議時間の削減などにより生み出された時間は、子どもと向き合う時間に振り分けられ教育の質の向上につながります。

さらに、校務をシステム化し事務効率が向上することで、事務時間が削減され、教職員の多忙化解消が図られます。

<イメージ図>



2. 事業費

- (1) 令和元年度予算額 17,430千円（ネットワーク回線敷設費用等）
- (2) 歳出予算補正額 186,000千円（ネットワーク回線敷設費用、校務支援システム開発費用等）※繰越明許費

3. 今後のスケジュール

- 令和元年10月～ ネットワーク回線準備作業開始
令和元年12月～ 校務支援システム構築業務開始
令和3年4月～ 運用開始

(2) 新潟市立幼稚園条例の一部改正について

1 提案理由

子ども・子育て支援法施行令の改正により幼児教育・保育の無償化に伴い、授業料の徴収等に関する規定の一部を改正する。

2 提案内容

- ・新潟市立幼稚園授業料の納付について「子ども・子育て支援法施行令」に基づき、教育・保育認定子どもの授業料を0円とする。
- ・新潟市立幼稚園授業料の無償化に伴い「授業料の納付方法」「授業料の免除」「授業料の還付」「授業料に関する委任」について削除する。

3 施行期日

令和元年10月1日

幼児教育・保育の無償化について

1. 概要

令和元年5月に、子ども・子育て支援法の一部を改正する法律が成立し、令和元年10月より、主に3歳から5歳までの幼稚園・保育所・認定こども園等に通う児童の保育料を無償化する「幼児教育・保育の無償化」が始まり、本市の市立幼稚園についても授業料が無償となります。

2. 制度の内容

(1) 授業料について

満3歳から5歳児（小学校就学前）までの全ての子どもの授業料が無償となります（所得制限等なし）。

(2) 諸園費について

給食費（主食及び副食に係る食材料費）、教材費、通園送迎費などの諸園費は、これまでどおり保護者負担です。

ただし、給食費のうち副食（おかず・おやつ等）については、年収360万円未満相当世帯の全ての子ども、及び、年収が360万円以上の場合は小学校3年生以下の兄や姉から数えて第3子以降の子どもは費用が免除されます。

(3) その他

市立幼稚園児童が、一時預かり事業や、病児・病後保育事業など「認可外保育施設等」を利用する場合も無償となります（共働き世帯の子どもなど保育の必要な3歳から5歳児（小学校就学前）までの子どもが対象となります。）。

3. 制度周知の状況

- ・市ホームページにて周知開始
- ・コールセンターでの問い合わせ対応
- ・子育て情報マガジン「クルール」への掲載
- ・市立幼稚園長会への周知
- ・保護者向け制度周知チラシの配付
- ・市報にいがたへの掲載

4. 9月議会定例会

- ・新潟市立幼稚園条例の一部を改正し、授業料を無償化する。

施行日：令和元年10月1日

議案第 号

新潟市立幼稚園条例の一部改正について

新潟市立幼稚園条例の一部を改正する条例を次のように制定するものとする。

令和元年 9月 日提出

新潟市長 中原 八一

新潟市立幼稚園条例の一部を改正する条例

新潟市立幼稚園条例（昭和39年新潟市条例第31号）の一部を次のように改正する。

第3条中「から第7条まで」を削る。

第4条を次のように改める。

（授業料）

第4条 幼稚園に入園を許可された幼児に係る授業料の額は、0円とする。

第5条から第8条までを削る。

附 則

（施行期日等）

- 1 この条例は、公布の日から施行し、改正後の新潟市立幼稚園条例の規定は、令和元年10月1日から適用する。

（経過措置）

- 2 改正後の第4条の規定は、令和元年10月以後の月分の授業料について適用し、同年9月以前の月分の授業料については、なお従前の例による。
- 3 改正前の第5条から第8条までの規定は、令和元年9月以前の月分の授業料については、なお従前の例による。

新潟市立幼稚園条例(昭和39年条例第31号)新旧対照表

改正後（案）	現行	備考
<p>(管理運営に関する事項)</p> <p>第3条 幼稚園の管理運営に関し必要な事項は、次条に定めるもののほか、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第33条第1項の規定に基づき教育委員会が教育委員会規則で定めるところによるものとする。</p> <p><u>（授業料）</u></p> <p>第4条 幼稚園に入園を許可された幼児に係る授業料は、0円とする。</p>	<p>(管理運営に関する事項)</p> <p>第3条 幼稚園の管理運営に関し必要な事項は、<u>次条から第7条までに定めるもののほか</u>、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第33条第1項の規定に基づき教育委員会が教育委員会規則で定めるところによるものとする。</p> <p><u>（授業料の納付）</u></p> <p>第4条 幼稚園に入園を許可された幼児（以下「園児」という。）の保護者は、次の各号に掲げる場合に応じ、当該各号に定める額の授業料を納付しなければならない。</p> <p>(1) <u>子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）第27条第1項に規定する特定教育・保育を受けた場合（次号に掲げる場合を除く。）</u> 同条第3項第2号に掲げる額を限度として規則で定める額</p> <p>(2) <u>子ども・子育て支援法第28条第1項第1号に掲げる場合</u> 同条第2項第1号に規定する政令で定める額を限度として規則で定める額</p> <p>(3) <u>子ども・子育て支援法第28条第1項第3号に掲げる場合</u> 同条第2項第3号に規定する政令で定める額を限度として規則で定める額</p>	

(第5条～第8条 削除)

2 同一の月に一の幼稚園において、前項各号の2以上の号に掲げる場合に該当する場合の当該月の分の授業料の額は、同項第1号に定める額とする。

(授業料の納付方法)

第5条 授業料は、園児が幼稚園に入園し、又は復園した日の属する月から幼稚園を退園し、休園し、又は卒業した日の属する月までの分のものを納付しなければならない。

2 毎月分の授業料の納付期間は、その月の25日とする。ただし、それぞれ8月分の授業料にあつてはその翌月の、及び3月分の授業料にあつてはその前月の25日とする。

3 前項の規定にかかわらず、園児の保護者は、いつでもその納付期限のいたらない月分の授業料を納付することができる。

(授業料の免除)

第6条 市長は、園児の保護者の属する世帯の所得に応じ、別に定めるところにより授業料の一部を免除することができる。

2 市長は、前項に定めるもののほか、特別の理由により園児の保護者が授業料を納付することができないと認める場合は、授業料の全部又は一部を免除することができる。

(授業料の還付)

第7条 既に納付した授業料は、園児が幼稚園を退園し、又は休園した場合における当該退園又は休園の日の属する月の翌月以後の分のほか、還付しない。ただし、前条の規定による授業料

を免除した場合は、この限りでない。

(授業料の徴収に関する委任)

第8条 第4条から前条までの規定に定めるもののほか、授業料の徴収に関し必要な事項は、市長が別に規則で定める。

(3) 新潟市教育職員給与条例の一部改正について

1 提案理由

成年被後見人及び被保佐人（成年被後見人等）の人権が尊重され、成年被後見人等であることを理由に不当に差別されないようにする「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律（令和元年法律第 37 号）」の制定により、地方公務員法が改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

《参考 地方公務員法の改正》

- ・ 職員の欠格条項から「成年被後見人又は被保佐人」を削除（第 16 条第 1 号）
（趣旨）

成年被後見人や被保佐人になった職員を一律に職員から排除するのではなく、採用試験、病気休職や分限（休職、免職）などの制度ごとに必要な能力があるかどうかを判断するべき。

令和元年 6 月 14 日公布，施行は同年 12 月 14 日

2 提案内容

地方公務員法の成年被後見人等に係る欠格条項の規定（同法第 16 条第 1 号）が削除されたことにともない、同規定を引用している第 33 条第 6 項の条文を整理するもの。

3 施行期日

令和元年 12 月 14 日

4 その他

法改正を受け本市では「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律による地方公務員法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例」を制定し、以下の条例を一括して改正する（担当：総務部職員課）

- ・ 新潟市職員退職手当支給条例
- ・ 新潟市旅費条例
- ・ 新潟市給与条例
- ・ 新潟市水道局企業職員の給与の種類及び基準を定める条例
- ・ 新潟市教育職員給与条例
- ・ 新潟市消防団員の定員，任命，給与，服務等に関する条例
- ・ 新潟市民病院職員の給与の種類及び基準を定める条例

新潟市教育職員給与条例(昭和34年条例第17号)新旧対照表

改正後（案）	現行	備考
<p>（休職者の給与）</p> <p>第33条（略）</p> <p>2～5（略）</p> <p>6 第3項に規定する教育職員が、同項に規定する期間内で第21条において準用する給与条例第22条第1項に規定する基準日前1箇月以内に退職し_____，又は死亡したときは、第21条において準用する給与条例第22条第1項の規定により人事委員会規則で定める日に、<u>第3項</u>の例による額の期末手当を支給することができる。ただし、人事委員会規則で定める職員については、この限りでない。</p> <p>7（略）</p>	<p>（休職者の給与）</p> <p>第33条（略）</p> <p>2～5（略）</p> <p>6 第3項に規定する教育職員が、同項に規定する期間内で第21条において準用する給与条例第22条第1項に規定する基準日前1箇月以内に退職し、<u>若しくは法第16条第1号に該当して法第28条第4項の規定により失職し</u>，又は死亡したときは、第21条において準用する給与条例第22条第1項の規定により人事委員会規則で定める日に、<u>同項</u>の例による額の期末手当を支給することができる。ただし、人事委員会規則で定める職員については、この限りでない。</p> <p>7（略）</p>	<p>成年被後見人等に係る欠格条項の削除による文言の削除</p> <p>字句修正</p>

【要旨】

○第33条第6項…休職者が退職等に至った場合の期末手当支給要件を定めた条項

傷病（公務災害及び結核性疾患を除く。）による休職が満1年以内である教育職員が、6月1日及び12月1日の1か月前以内に次のいずれかに該当するときは、期末手当の100分の80を支給することができる。

- ・退職
- ・成年被後見人及び被保佐人に該当したことにより失職 ← 削除
- ・死亡

成年後見制度の概要

1 成年後見制度とは

精神上の障害により判断能力が不十分であるため法律行為における意思決定が困難な方々について、その判断能力を補い、その方々の財産等の権利を擁護する制度（民法上の制度）

	後見	保佐	補助
対象となる方	判断能力が欠けているのが通常の状態の方	判断能力が著しく不十分な方	判断能力が不十分な方
申立てをすることができる人	本人、配偶者、四親等内の親族、検察官、市町村長など		
成年後見人等（成年後見人・保佐人・補助人）の同意が必要な行為		民法13条1項所定の行為（借金、訴訟行為など） <small>*1 家庭裁判所の審判により、上記以外も同意権・取消権の範囲となる。 *2 日常生活に関する行為は除く。</small>	申立ての範囲内での家庭裁判所が審判で定める「特定の法律行為」（民法13条1項所定の行為の一部）
取消しが可能な行為	日常生活に関する行為以外の行為	同上 <small>*1、*2</small>	同上 <small>*2</small>
成年後見人等に与えられる代理権の範囲	財産に関するすべての法律行為	申立ての範囲内で家庭裁判所が審判で定める「特定の法律行為」	同左
制度を利用した場合の資格などの制限	医師、税理士等の資格や法人役員、公務員等の地位を失うなど	医師、税理士等の資格や法人役員、公務員等の地位を失うなど	

※公職選挙法の改正により、選挙権、被選挙権の制限はなくなった（平成25年）

2 利用件数

平成30年末日時点で218,142人（後見：169,583人、保佐：35,884人、補助：10,064人）※最高裁判所調べ

〔備考〕 認知症者数 : 約462万人（平成24年）
 知的障害者数（在宅） : 約75万人（平成28年、18歳以上、年齢不詳含む。）
 精神障害者数（外来） : 約335万人（平成26年、20歳以上、年齢不詳含む。）

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律案の概要

成年後見制度の利用の促進に関する法律(平成28年法律第29号)に基づく措置として、成年被後見人及び被保佐人(成年被後見人等)の人権が尊重され、成年被後見人等であることを理由に不当に差別されないよう、成年被後見人等に係る欠格条項その他の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための措置を講ずる。

【改正内容】

成年被後見人等を資格・職種・業務等から一律に排除する規定等(欠格条項)を設けている各制度について、心身の故障等の状況を個別的、実質的に審査し、各制度ごとに必要な能力の有無を判断する規定(個別審査規定)へと適正化するとともに、所要の手續規定を整備する(180法律程度)。

(1)公務員等 : 国家公務員法、自衛隊法等

⇒原則として現行の欠格条項を単純削除。

※現行制度において、採用時に試験や面接等により適格性を判断し、その後、心身の故障等により職務を行うことが難しい場合においても病気休職、分限などの規定が既に整備されている。

(2)士業等 : 弁護士法、医師法等

⇒原則として現行の欠格条項の削除を行い、併せて個別審査規定を整備。なお、就任時に試験や個別審査規定により適格性を判断し、その後、心身の故障等により職務を行うことが難しい場合の登録の取消しなどの規定が既に整備されている場合、現行の欠格条項を単純削除。

(3)法人役員等 : 医療法(医療法人)、信用金庫法(信用金庫)等

⇒原則として役員欠格事由から成年被後見人等を削除し、併せて個別審査規定を整備。なお、個別審査規定が既に整備されている場合、役員欠格事由から成年被後見人等を単純削除。

(4)営業許可等 : 貸金業法(貸金業の登録)、建設業法(建設業の許可)等

⇒原則として現行の欠格条項の削除を行い、併せて個別審査規定を整備。なお、個別審査規定が既に整備されている場合、現行の欠格条項を単純削除。

(5)法人営業許可等 ⇒ 上記(4)と同様

- ### 【施行期日】
- ①欠格条項を削除するのみのもの→原則として公布の日
 - ②府省令等の整備が必要なもの→原則として公布の日から3月
 - ③地方公共団体の条例等又はその他関係機関の規則等の整備が必要なもの→原則として公布の日から6月
 - ④上記により難しい場合→個別に定める日 ※建築士法:平成30年12月1日

(4) 新潟市公民館条例の一部改正について

1 提案理由

平成28年に策定された「潟東地域実行計画」に基づき、既存公共施設の再編及び老朽化が著しい「かたひがし生活体験館（潟東地区公民館の分館）」を廃止し、その機能を潟東体育館の増築、改修工事により複合化する「(仮称)潟東地域コミュニティセンター」に移転することとなったため、必要な条例改正を行うものである。

2 提案内容

公民館の分館の名称及び位置を規定している第3条第2項の表中新潟市潟東地区公民館の項を削る。

別表の41の表（新潟市潟東地区公民館）を削り、それに伴う表の繰り上げを行う。

3 施行期日

令和2年4月1日

議案第 号

新潟市公民館条例の一部改正について

新潟市公民館条例の一部を改正する条例を次のように制定するものとする。

令和元年9月 日提出

新潟市長 中原 八一

新潟市公民館条例の一部を改正する条例

新潟市公民館条例（昭和34年新潟市条例第44号）の一部を次のように改正する。

第3条第2項の表新潟市潟東地区公民館の項を削る。

別表別表の適用に関する通則1及び2中「42の表」を「41の表」に改め、同表中41の表を削り、42の表を41の表とする。

附 則

この条例は、令和2年4月1日から施行する。

新潟市公民館条例(昭和34年条例第44号)新旧対照表

改正後（案）	現行	備考																													
<p>(名称及び位置)</p> <p>第3条 公民館の名称及び位置は、次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="226 395 1037 502"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 次の表の左欄に掲げる公民館の分館の名称及び位置は、同表の中欄及び右欄に掲げるとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="226 603 1037 812"> <thead> <tr> <th>公民館</th> <th>分館の名称</th> <th>分館の位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>新潟市岩室地区 公民館</td> <td>新潟市間瀬公民館</td> <td>新潟市西蒲区間瀬4287番地1</td> </tr> </tbody> </table> <p>別表（第6条関係）</p> <p>別表の適用に関する通則</p> <p>1 1の表から41の表までに規定する利用時間区分（以下「利用時間区分」という。）を継続して利用する場合の使用料の額は、各利用時間区分の使用料の額の合計額とする。ただし、その継続する利用のうちに午後0時30分から午後2時30分までの区分と午後3時から午後5時までの区分との継続する利用又は午後1時から午後3時までの区分と午後3時30分から午後5時30分までの区分との継続</p>	名称	位置	(略)	(略)	公民館	分館の名称	分館の位置	(略)	(略)	(略)	新潟市岩室地区 公民館	新潟市間瀬公民館	新潟市西蒲区間瀬4287番地1	<p>(名称及び位置)</p> <p>第3条 公民館の名称及び位置は、次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1104 395 1921 502"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 次の表の左欄に掲げる公民館の分館の名称及び位置は、同表の中欄及び右欄に掲げるとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1104 603 1921 916"> <thead> <tr> <th>公民館</th> <th>分館の名称</th> <th>分館の位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>新潟市岩室地区 公民館</td> <td>新潟市間瀬公民館</td> <td>新潟市西蒲区間瀬4287番地1</td> </tr> <tr> <td>新潟市潟東地区 公民館</td> <td>新潟市かたひがし 生活体験館</td> <td>新潟市西蒲区三方91番地</td> </tr> </tbody> </table> <p>別表（第6条関係）</p> <p>別表の適用に関する通則</p> <p>1 1の表から42の表までに規定する利用時間区分（以下「利用時間区分」という。）を継続して利用する場合の使用料の額は、各利用時間区分の使用料の額の合計額とする。ただし、その継続する利用のうちに午後0時30分から午後2時30分までの区分と午後3時から午後5時までの区分との継続する利用又は午後1時から午後3時までの区分と午後3時30分から午後5時30分までの区分との継続</p>	名称	位置	(略)	(略)	公民館	分館の名称	分館の位置	(略)	(略)	(略)	新潟市岩室地区 公民館	新潟市間瀬公民館	新潟市西蒲区間瀬4287番地1	新潟市潟東地区 公民館	新潟市かたひがし 生活体験館	新潟市西蒲区三方91番地	
名称	位置																														
(略)	(略)																														
公民館	分館の名称	分館の位置																													
(略)	(略)	(略)																													
新潟市岩室地区 公民館	新潟市間瀬公民館	新潟市西蒲区間瀬4287番地1																													
名称	位置																														
(略)	(略)																														
公民館	分館の名称	分館の位置																													
(略)	(略)	(略)																													
新潟市岩室地区 公民館	新潟市間瀬公民館	新潟市西蒲区間瀬4287番地1																													
新潟市潟東地区 公民館	新潟市かたひがし 生活体験館	新潟市西蒲区三方91番地																													

改正後（案）	現行	備考																								
<p>する利用（以下「午後の区分の継続利用」と総称する。）が含まれる場合は、当該午後の区分の継続利用の使用料の額については、これを当該午後の区分の継続利用の各利用時間区分の使用料の額の合計額に4分の3を乗じて得た額（その額に100円に満たない端数がある場合は、これを100円に切り上げた額）とするものとする。</p> <p>2 利用時間が1の表から<u>41の表</u>まで及び別表の適用に関する通則1に規定する利用時間に満たない場合でも、時間割計算は、行わない。</p> <p>1 新潟市中央公民館 (略)</p> <p>40 新潟市潟東地区公民館</p>	<p>する利用（以下「午後の区分の継続利用」と総称する。）が含まれる場合は、当該午後の区分の継続利用の使用料の額については、これを当該午後の区分の継続利用の各利用時間区分の使用料の額の合計額に4分の3を乗じて得た額（その額に100円に満たない端数がある場合は、これを100円に切り上げた額）とするものとする。</p> <p>2 利用時間が1の表から<u>42の表</u>まで及び別表の適用に関する通則1に規定する利用時間に満たない場合でも、時間割計算は、行わない。</p> <p>1 新潟市中央公民館 (略)</p> <p>40 新潟市潟東地区公民館</p> <p>41 新潟市かたひがし生活体験館</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">施設名</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">使用料の額（円）</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">午前9時か ら正午ま で</th> <th style="text-align: center;">午後1時か ら午後3時 まで</th> <th style="text-align: center;">午後3時30 分から午 後5時30分 まで</th> <th style="text-align: center;">午後6時30 分から午 後9時30分 まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">陶芸体験 室</td> <td style="text-align: center;"><u>200</u></td> <td style="text-align: center;"><u>100</u></td> <td style="text-align: center;"><u>100</u></td> <td style="text-align: center;"><u>200</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">調理室</td> <td style="text-align: center;"><u>400</u></td> <td style="text-align: center;"><u>300</u></td> <td style="text-align: center;"><u>300</u></td> <td style="text-align: center;"><u>400</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">木工体験 室</td> <td style="text-align: center;"><u>300</u></td> <td style="text-align: center;"><u>200</u></td> <td style="text-align: center;"><u>200</u></td> <td style="text-align: center;"><u>300</u></td> </tr> </tbody> </table>	施設名	使用料の額（円）				午前9時か ら正午ま で	午後1時か ら午後3時 まで	午後3時30 分から午 後5時30分 まで	午後6時30 分から午 後9時30分 まで	陶芸体験 室	<u>200</u>	<u>100</u>	<u>100</u>	<u>200</u>	調理室	<u>400</u>	<u>300</u>	<u>300</u>	<u>400</u>	木工体験 室	<u>300</u>	<u>200</u>	<u>200</u>	<u>300</u>	
施設名	使用料の額（円）																									
	午前9時か ら正午ま で	午後1時か ら午後3時 まで	午後3時30 分から午 後5時30分 まで	午後6時30 分から午 後9時30分 まで																						
陶芸体験 室	<u>200</u>	<u>100</u>	<u>100</u>	<u>200</u>																						
調理室	<u>400</u>	<u>300</u>	<u>300</u>	<u>400</u>																						
木工体験 室	<u>300</u>	<u>200</u>	<u>200</u>	<u>300</u>																						

改正後（案）	現行					備考
<u>41</u> 新潟市中之口地区公民館 （略）	<u>和室会議 室</u>	<u>300</u>	<u>300</u>	<u>300</u>	<u>300</u>	
	<u>42</u> 新潟市中之口地区公民館 （略）					

議案第16号

教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価報告書の
議会報告について

教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価報告書の議会報告を、次のとおりとしたいため議決を求める。

令和元年8月30日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

**教育委員会の事務の管理及び
執行状況に関する点検・評価報告書（案）
（平成30年度対象）**

**令和元年9月
新潟市教育委員会**

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教育法」という。）第26条の規定に基づき平成30年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果をまとめたものです。

— 目次 —

I 教育委員会の活動状況について

- 1 教育委員会会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 教育委員会会議以外の教育委員の活動状況・・・・・・・・・・・・・・3
- 3 平成30年度の主な取組と成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

II 新潟市教育ビジョンの施策評価について

- 1 平成30年度施策評価一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
- 2 主な施策・事業の評価状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- 3 教育ビジョン推進委員からの主な意見・要望と教育委員会の対応
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

- 参考資料 新潟市教育ビジョン推進委員会平成30年度施策評価経過
新潟市教育ビジョン推進委員会（第6期）（第7期）委員名簿
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

I 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会会議の開催状況

○新潟市教育委員会定例会・臨時会

- 4月 定例会 議案第 1号 第33期新潟市社会教育委員の委嘱について
議案第 2号 第24期新潟市文化財保護審議会委員の委嘱について
議案第 3号 2019年度使用新潟市立小学校用教科用図書採択に関する基本方針について
議案第 4号 2019年度使用新潟市立中学校用教科用図書採択に関する基本方針について
議案第 5号 2019年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書採択に関する基本方針について
議案第 6号 2019年度使用新潟市立特別支援学校・特別支援学級用教科用図書採択に関する基本方針について
議案第 7号 2019年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択に関する基本方針について
議案第 8号 2019年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書採択に関する基本方針について
議案第 9号 新潟市教育委員会組織規則の改正について
- 5月 定例会 議案第10号 平成30年6月議会定例会の議案について
- 6月 定例会 議案第11号 教職員の人事措置について
- 7月 定例会 議案第12号 2019年度使用新潟市立小学校用教科用図書の採択について
議案第13号 2019年度使用新潟市立中学校用教科用図書の採択について
議案第14号 2019年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書の採択について
議案第15号 2019年度使用新潟市立特別支援学校・特別支援学級用教科用図書（一般図書）の採択について
議案第16号 教職員の人事措置について
- 8月 定例会 議案第17号 平成30年9月議会定例会の議案について
議案第18号 教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価の議会報告について
議案第19号 2019年度使用新潟市立高等学校用教科用図書の採択について
議案第20号 2019年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書の採択について
議案第21号 新潟市立幼稚園再編実施計画について
- 9月 定例会 議案第22号 木崎小学校と笹山小学校の統合について

10月 定例会	—	報告案件のみ
11月 定例会	議案第23号	平成30年12月議会定例会の議案について
	議案第24号	陳情の処理経過及び結果について
12月 定例会	—	報告案件のみ
1月 定例会	—	報告案件のみ
2月 定例会	議案第25号	市立学校園の校園長の人事について
	議案第26号	教職員の人事措置について
	議案第27号	平成31年2月議会定例会の議案について
3月 定例会	議案第28号	事務局職員の人事措置について
	議案第29号	新潟市公民館条例施行規則の一部改正について
	議案第30号	新潟市教育委員会組織規則の一部改正について
	議案第31号	新潟市教育財産管理規則の一部改正について
	議案第32号	新潟市教育委員会情報通信技術の活用に関する規定の制定について
	議案第33号	新潟市立学校管理運営に関する規則の一部改正について
	議案第34号	新潟市教育職員の勤務時間、休暇等に関する条例施行規則の一部改正について
	議案第35号	事務局及び機関の長の人事について
	議案第36号	市立学校園の校園長の人事に係る教育長代理について

○教育委員会会議の公開等に関すること

- ・ 会議について 原則公開（人事案件等非公開の場合あり）
- ・ 開催案内について ホームページ・市報にいがた等に掲載
- ・ 会議案件について ホームページで案件名を事前に公開
- ・ 会議録について 会議終了後、会議速報をホームページに掲載
会議録作成後、速やかに、ホームページに掲載及び
市政情報案内室において公開
- ・ 傍聴の平均人数 4.42人

- ・ 地教行法等に基づき、新潟市では毎月、教育委員会定例会及び必要に応じて臨時会を開催しており、平成30年度は12回の会議（定例会12回）を開催しました。
（付議事件36件、報告案件40件）
- ・ 重要な案件については、教育委員会定例会の付議事件とする前に協議会の場において事前協議を行い、十分な検討を重ねています。（協議会案件5件）
- ・ 会議は原則公開で行っています。（人事案件等、非公開の場合あり。）

2 教育委員会会議以外の教育委員の活動状況

○意見交換会・懇談会

- 平成30年 6月 総合教育会議
区教育ミーティング（東区，秋葉区，西区）
中学校区教育ミーティング（早通）
- 平成30年 7月 区教育ミーティング（北区，中央区，江南区，南区，西蒲区）
中学校区教育ミーティング（光晴，新津第五，小新，中野小屋）
- 平成30年 8月 中学校区教育ミーティング（山潟，味方）
A k i h a 教育懇談会
- 平成30年 9月 中学校区教育ミーティング（藤見，新潟柳都，小合，小須戸，
巻東・西特支）
- 平成30年10月 中学校区教育ミーティング（岡方，下山，横越，巻西）
- 平成30年11月 区教育ミーティング（北区）
中学校区教育ミーティング（東石山，宮浦，上山，亀田，亀田西，月潟，
五十嵐，黒埼，潟東）
- 平成30年12月 区教育ミーティング（江南区，西蒲区）
中学校区教育ミーティング（木崎，木戸，白根北）
- 平成31年 1月 小中学校PTA連合会との懇談会
区教育ミーティング（東区，中央区，秋葉区，南区，西区）
- 平成31年 3月 総合教育会議
社会教育委員との懇談会

- ・ 教育委員会と地域との連携強化，開かれた教育委員会を目指し，各区の自治協議会委員と区教育ミーティングを年2回行いました。また，28中学校区で中学校区教育ミーティングを行いました。
- ・ 総合教育会議を年2回開催し，市長と教育委員会が教育施策の方向性を共有し，相互連携して執行にあたるため，両者が協議・調整を行いました。

○市内視察

- 平成30年 5月 総合教育センター研修現場視察
- 平成30年 6月 鳥屋野中学校（地域連携事業）
- 平成30年 9月 南浜中学校，鎧郷小学校（地域連携事業）
新潟小学校（マイスター公開授業）
- 平成30年10月 南浜中学校，東石山中学校，丸山小学校，新津第一小学校，根岸小学校，
臼井小学校（地域連携事業），
新津第二小学校（マイスター公開授業）
- 平成30年11月 東山の下小学校，沼垂小学校，金津小学校，巻北小学校（地域連携事業）
寄居中学校（マイスター公開授業）
- 平成30年12月 岡方第一小学校，五十嵐小学校（地域連携事業）
女池小学校（マイスター公開講座）
- 平成31年 1月 茨曾根小学校（地域連携事業）
- 平成31年 2月 小針小学校（地域連携事業）

- ・ 20カ所の学校の視察を行い，実際の教育現場の状況を把握するようにしています。
- ・ 視察の際は，教職員等と意見交換を行うなど，情報交換に努めています。

○行政視察（県外視察）

平成30年11月 千葉県市川市教育委員会

- ・コミュニティ・スクールの先進地視察

新潟市において今後導入を検討しているコミュニティ・スクールについて、先進地である千葉県市川市を視察しました。

当日開催されていた学校運営協議会を参観し、市川市のコミュニティ・スクールの導入に伴う経緯や成果などについて説明を受け、学校運営協議会の構成員、周知方法、教員の負担感や地域学校協働本部との関わりを確認することができました。

- ・先進地の教育行政を参考にして、新潟市の教育行政に役立てるため、年に一度、県内外の行政視察を行っています。

○指定都市教育委員・教育長協議会・他団体関係

平成30年 4月 全県教育長会議

平成30年 6月 第1回指定都市教育委員・教育長協議会

平成30年 7月 新潟県市町村教育委員会連合会定期総会

平成30年10月 新潟県都市教育長協議会 秋季定期総会
都道府県・指定都市新任教育委員研究協議会

平成31年 1月 第2回指定都市教育委員・教育長協議会

- ・指定都市教育委員・教育長協議会、新潟県都市教育長協議会に教育長が参加している他、その他連合会の研修等に教育委員も参加し、他指定都市や他市町村の教育委員とも積極的に情報交換を行っています。

○学校周年事業・卒業式等への教育委員の出席状況

平成30年 5月 ゆいぽーと開館式

平成30年10月 創立40周年記念式典（西内野小学校）

平成30年11月 創立140周年記念式典（関屋小学校）

平成31年 1月 成人式

平成31年 3月 卒業式（万代高等学校，明鏡高等学校，高志中等教育学校，東特別支援学校，西特別支援学校）

○その他の活動・研修・出席

新任教育委員研修，小・中学校教員採用選考検査確認，公募校長選考検査，校長選考検査面接官，管理職選考結果確認，市立学校園長全体研修会，教科用図書特徴説明会・学習会，市小研究発表会，いじめ防止市民フォーラム 等

3 平成 30 年度の主な取組と成果

新潟市教育ビジョン第 3 期実施計画は、平成 27 年度から 31 年度の 5 か年を期間とし、それまでの教育ビジョン前・後期実施計画時の基本構想や基本計画を原則的に継続「NEXT」するとともに、新たな視点「NEW」を加えて策定しました。

平成 30 年度は、この計画に盛り込まれた施策を実施し、「学・社・民の融合による教育の推進」に引き続き取り組み、「地域と共に歩む学校づくり」の推進をはじめ、それぞれの施策・事業を充実させてきました。

平成 30 年度の実施状況について、有識者の知見を活用した評価では、全 51 施策の平均が 4.02、うち 20 施策である「NEXT&NEW」の平均では、4.14 で、ともに概ね達成の評価である「評価 4」以上を得ることができました。

教育委員会の主な取組と成果は、次の通りです。

① 基礎・基本を身に付ける教育の推進

本市独自の単元評価問題の学校向け Web 配信を継続し、その結果や分析から、単元別の基礎的・基本的な知識・技能の習得状況を把握することで、授業改善に役立てています。

また、中学生を対象に放課後の時間を活用したアフタースクール学習支援事業を実施し、数学・英語の基礎・基本を身に付けられるよう努めました。さらに、大学生などの学習支援ボランティアを引き続き各校に配置するなど、学習支援環境を整備し、主体的に学ぶ意欲・態度を育成するとともに、児童生徒一人一人の学力実態の的確な把握と、きめ細かな指導に努めました。

これらの取組の結果、全国学力学習状況調査では、小 6、中 3 の国語 A、国語 B、算数 A、算数 B、数学 A、数学 B の全ての調査問題で、全国平均以上となりました。

さらに、新潟市では、授業づくりの重点の一つとして、家庭学習の充実を掲げています。学校訪問等の機会に「新潟市の家庭学習」リーフレットを利用することを通して、授業とつながり、主体的に学び続ける力の育成を推進しました。

② 第 2 次子ども読書活動推進計画と学校図書館支援センター事業

平成 27 年 3 月に策定した第二次計画（平成 27～31 年度）に基づき、図書館をはじめ、家庭、幼稚園・保育園、学校、地域において、子どもの読書環境の整備を進めました。

ブックスタート事業や家族で一緒に読書を楽しむ「うちどく」を引き続き実施したほか、子育て世代の図書館利用を促す「赤ちゃんタイム」を全館で実施しました。

また、学校では学校図書館活用推進校の指定の継続と、平成 29 年度から司書が配置された東・西の特別支援学校の資料整備と活用を推進し、全市立学校の学校図書館の充実に努めました。

③ 一人一人の成長を促す生徒指導の推進

子ども同士の温かい人間関係を築く授業、児童生徒会活動や学校行事などを通して、児童生徒が互いに認め合い、支え合い、高め合う教育活動の実践の啓発に努めました。その結果、新潟市生活・学習意識調査の「自律性」「社会性」にかかわる質問項目のうち、肯定的な回答が前年度の数値を上回った項目の割合が向上しました。

いじめ・不登校の対応として、初期対応ガイドブックを作成し、誰もが適切に対応できるよう全教職員に配付しました。学校ではガイドブックにより、いじめ・不登校の原因や背景を多面的に理解するとともに、その解決に向けた具体的な支援策を立て、組織的かつ適切な対応を行いました。その結果、いじめの解消率は前年比で割合が向上しました。不登校の発生率は全体では上昇しているものの、不登校傾向児童生徒の認知に学校が敏感になったことで、積極的な不登校傾向児童生徒の認知が進むとともに、認知された不登校傾向児童生徒への早期の適切な対応により、不登校に陥らない児童生徒数が増加しました。

④ 体力づくりの推進

運動好きの子どもを増やすことと体力の向上を目指すために、市立学校で体力向上計画（体力向上ジャンプアップ）を作成し、取り組みました。新体力テストの結果を受けて授業内容を工夫したり、児童会・生徒会の行事に運動にかかわる内容を加えるなど、各学校の実態に応じた取組を進めました。

また、スポーツ庁主催の「運動が苦手な児童生徒のための授業づくり研究大会」に市内教員を派遣して、その内容を市立学校に伝達し、体育、保健体育の授業改善を進めました。

⑤ 若者支援事業の取組

若者の社会的自立・職業的自立、特に困難な状況を有する若者の課題解決、成長及び自立に向け、若者支援センター「オール」において、相談・居場所・事業の3つの柱で若者への支援を行いました。加えて、支援を行う人材の育成を目的に、若者支援者養成講座（計10回）を開催しました。若者支援者養成講座修了者は延べ227人となり、若者支援の知識やスキルを身に付けた人材を送り出しました。

また、新潟市若者支援協議会を開催し、51の関係機関が相互の連携・強化を図るとともに、高校生活に困難を抱えている生徒への支援を行う「にいがた若者自立応援ネット」の確実な運営によって、相談、教育、医療、福祉、行政の関連機関が連携しながら、相談者一人一人の自立を促しました。

⑥ 一貫教育の推進

私立幼稚園や保育園、認定こども園の各代表も参加する「新潟市一貫教育推進協議会」において、就学前から義務教育修了までの一貫した教育について協議しました。下部組織である小中一貫教育部会では、8つのパイロット中学校区による先行実施及びその検証により、「新潟市にふさわしい小中一貫した教育」の骨子を固め、市立全小中学校に周知しました。同じく下部組織の幼・保・

小連携部会では、新潟市共通アプローチ・カリキュラムを完成させ、カリキュラム自園化の方法を明確にしました。

⑦ 子育て支援

家庭の教育力の向上を図ることを目的に、出産前から中学生期までの子どもの成長にあわせた家庭教育学級を開催し、子育てに必要な情報や課題を学び、親として子どもとどう向きあっていくかを考え、保護者同士のネットワークづくりを支援することができました。また、平日の講座に参加できない保護者に対しても土日や祝日に講座を開催して、学習の場を提供しました。

⑧ 主体的な学習を支えるシステムづくり

市民の生涯にわたる多様な学習活動を支援するため、生涯学習センターの機能及び生涯学習ボランティアなどを活用した学習情報の収集・提供、学習相談を行いました。

また、生涯学習に関する豊かな知識や経験、優れた技能を有するボランティアを養成し、学びの成果を地域活動や教育活動等に生かすため、ボランティアバンクへの登録（平成30年度末登録者数 1,442人）や派遣を行いました。

こうした取組を通して、学習成果を人づくりや地域づくりに生かす循環型生涯学習の推進につなげることができました。

⑨ 地域と共に歩む学校づくりの推進

学・社・民の融合による教育を推進する取組として、「地域と学校パートナーシップ事業」を引き続き実施しました。地域教育コーディネーターは292人、学校支援ボランティアの活動機会は延べ52,440回、延べボランティア数は328,319人となり、学校を中心とした地域コミュニティや地域の教育力の向上に大きく寄与しました。

また「大好きにいがた体験事業『地域と学校ウェルカム参観日』」を市内17校で開催し教育活動の公開、学校職員や参加者同士の交流を深めることで「地域と学校パートナーシップ事業」の周知と推進を図りました。

さらに、「子どもふれあいスクール事業」を67小学校で実施し、安心・安全な遊び場を提供しました。異年齢交流を通して、自主性や社会性を育み、地域の教育力の活性化を図りました。

⑩ 教育ネットワークの構築

教育委員会と各学校間をネットワークで結ぶ教育ネットワークの構築及び、校務を効率化する統合型校務支援システムの導入に向けた調査研究、計画案の作成などを行いました。

教育ネットワークを構築することで、学校での情報セキュリティが向上するほか、情報共有が進み、教材の有効活用や会議時間の削減などにより生み出された時間は、子どもと向き合う時間に振り分けられ教育の質の向上につながります。さらに、校務をシステム化し事務効率が向上することで、事務時間が削減され、教職員の多忙化解消が図られます。

⑪ 教育関係職員の研修プログラムの充実

教職員の資質能力のより一層の向上を図るため、キャリアステージ研修・専門研修等 134 講座を実施し、延べ 7,651 人が受講しました。特に、新採用から 5 年目までの若手教員研修、教職 13 年目教員対象の中堅教諭等資質向上研修では、指導主事やマイスター教員による丁寧なマンツーマン指導で受講者一人一人の授業力を高めています。

また、特別支援教育、いじめ・不登校、ICT活用など、喫緊の教育課題に対応した研修講座を実施し教職員の取組を支援しています。

⑫ 多忙化解消対策の推進と教職員のヘルスケア

平成 29 年度に策定した「第 2 次多忙化解消行動計画」に基づき、学校閉庁日の設定やスクールロイヤーの導入、学校事務支援員・部活動指導員の配置など、学校園と教育委員会、保護者・地域が一体となって教職員の長時間勤務の縮減を推進しました。

また、教職員のヘルスケアについて、ストレスチェック結果や病休者数などの指標を用いて比較すると、メンタルヘルスに関しては全国平均よりも良好な状況ですが、メンタルヘルス以外に関しては全国平均よりも悪い状況です。教職員の健康状態を改善するために、管理職向け安全衛生研修の開催、保健師による高ストレス者への相談支援や病休者への復職支援に取り組みました。

⑬ 教育ミーティングの実施

区担当教育委員の活動として、教育委員会の施策などを地域に情報提供するとともに、地域の実情を把握するため各区の自治協議会とテーマを設定し意見交換を行う、区教育ミーティングを各区で 2 回実施しました。

また、中学校区内のコミュニティ協議会、保護者等と意見交換を行う中学校区教育ミーティングを 28 中学校区で実施しました。中学校区単位で作成する「防災教育プログラム」や各校の防災教育の取組について意見交換を行うなど、地域や家庭と学校の連携を深め防災教育の自校化にむけた取組を推進しています。

II 新潟市教育ビジョンの施策評価について

新潟市教育ビジョンの平成30年度の実施状況について、有識者の知見を活用した評価を以下に示します。

1 平成30年度施策評価一覧

全施策の平均 4.02 (NEXT&NEWの平均 4.14)

○評価分布(評価対象51指標)

- ・目標を上回って達成…11.8%
- ・目標を概ね達成…66.7%
- ・目標をもう少しで達成…17.6%
- ・目標を下回った…3.9%
- ・目標を大きく下回った…0.0%

凡例
目標を上回って達成 … 5
目標を概ね達成 … 4
目標をもう少しで達成 … 3
目標を下回った … 2
目標を大きく下回った … 1

基本施策(13施策)	施策(54施策)		H30施策評価	
	網掛…【NEXT】&【NEW】に該当する施策			
1 確かな学力の向上	1-1(1)	社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進	4.3	4.0
	1-1(2)	学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進	4.0	
	1-1(3)	基礎・基本を身に付ける教育の推進	4.3	
	1-1(4)	アグリ・スタディ・プログラムの推進	4.0	
	1-1(5)	学習習慣の定着	4.0	
	1-1(6)	読書活動の推進と新聞活用の充実	3.3	
2 豊かな心と健やかな体の育成	2-1(1)	いのちの教育・心の教育の推進	4.3	4.0
	2-1(2)	一人一人の成長を促す生徒指導の推進	4.3	
	2-1(3)	体験活動・ボランティア活動の充実	3.5	
	2-1(4)	文化・芸術活動体験の推進	4.5	
	2-1(5)	体力づくりの推進	4.5	
	2-1(6)	健康づくりの推進	3.3	
	2-1(7)	食育の推進	3.2	
	2-1(8)	青少年の健全育成の推進	4.3	
3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成	3-1(1)	地域学習の充実	5.0	4.4
	3-1(2)	外国語教育・国際理解教育の充実	3.5	
	3-1(3)	情報教育の充実とICTを活用した教育の取組	4.3	
	3-1(4)	主体的な取組を促す環境教育の推進	4.3	
	3-1(5)	海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進	5.0	
4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進	4-1(1)	子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進	4.0	4.7
	4-1(2)	特別支援教育のサポート体制の推進	5.0	
	4-1(3)	早期からの就学相談・支援の充実	5.0	
5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり	5-1(1)	新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組	4.3	4.3
	5-1(2)	幼児教育の充実と幼保小連携の推進	4.3	
6 人権を守り共に支え合う社会の推進	6-1(1)	人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進	4.2	3.6
	6-1(2)	交流・体験活動の推進	3.0	
7 家庭教育の充実と子育て支援	7-1(1)	家庭教育充実への支援	4.0	4.5
	7-1(2)	子育て支援の充実	5.0	
8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実	8-1(1)	主体的な学習を支えるシステムづくり	2.0	3.6
	8-1(2)	学び育つ各世代への支援	3.7	
	8-1(3)	地域における生涯学習活動への支援	5.0	
9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進	9-1(1)	地域と共に歩む学校づくりの推進	4.3	4.2
	9-1(2)	広報広聴活動の推進	4.0	
	9-1(3)	学校・地域・NPO等の協働の推進	4.3	
	9-1(4)	高等教育機関及び企業との連携推進	4.3	
	9-1(5)	子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画	4.0	
	9-1(6)	市民の生涯学習施設運営への参画	4.5	
10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進	10-1(1)	防災・安全教育の充実	4.0	4.0
	10-1(2)	保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進	4.0	
	10-1(3)	安全な学校施設	4.0	
	10-1(4)	学びを支援する体制の整備と充実	4.0	
11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備	11-1(1)	効果的な指導を支援する施設設備の充実	4.0	3.8
	11-1(2)	コミュニティの拠点としての学校整備	4.0	
	11-1(3)	学校施設の整備	4.0	
	11-1(4)	生涯学習施設を核とした学習環境の整備	3.0	
12 市民に信頼される教育関係職員の育成	12-1(1)	教育関係職員の研修プログラムの充実	4.0	3.4
	12-1(2)	教職員への支援体制の充実	2.3	
	12-1(3)	信頼される教職員の採用・登用・配置	3.3	
	12-1(4)	教育関係職員の人事管理の適正化	4.0	
13 ニーズと課題に応える教育行政の創造	13-1(1)	新潟らしい教育改革の推進	4.0	4.0
	13-1(2)	効果的・効率的な執行体制の整備		
	13-1(3)	教育情報の収集と発信	4.0	
	13-1(4)	学校適正配置		
	13-1(5)	教育施策の管理と適切な評価	[3.0]	

2 主な施策・事業の評価状況

「NEXT」&「NEW」に該当する施策を取り上げています。

1 確かな学力の向上

1-（1） 社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進

主な事業 ・持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業
 ・「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進
 ・アフタースクール学習支援事業

H30施策評価
4.3

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		20.0	50.0	75.0	85.0	92.0	
進捗状況	-	42.5	72.0	85.0	91.0		
指標2	「アクティブ・ラーニング」を実施した学校の割合(%)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
進捗状況	92.0	95.0	100.0	100.0	100.0		
指標3	放課後の学習支援をする中学校(校)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		56	56	56	56	56	
進捗状況	-	56	56	56	56		
指標4	環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
進捗状況	1	1.0	1.0	1.0	1.0		
指標5	環境教育事業の実施						H30評価
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
指標目標		実施	実施	実施	実施	実施	
進捗状況	実施	実施	実施	実施	実施		

○すべての学校で、「アクティブ・ラーニング」を取り入れた教育活動が定着してきた。

○学校訪問を通じて、主体的・対話的で深い学びのある授業を推進するよう働き掛けてきた。その結果、「アクティブ・ラーニング」を進めることで子どもに社会の変化や課題に適切に対応できる力を育むことができる、という意識を教職員一人一人にもたせることができた。また、ESD(持続可能な開発のための教育)の概念が、各学校にだいたい浸透してきた。

○5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校もある。全体での一斉授業と個別支援の両面から、生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開している。

○環境教育の一層の推進を図るため、小中学校に「地域の特色を活かした環境学習支援事業」の案内・募集を行った。指定校9校が事業を推進した。

1-（3） 基礎・基本を身に付ける教育の推進

主な事業 ・学力実態調査 ・学習支援員派遣事業
 ・学力定着支援事業 ・理数大好きプロジェクト
 ・アフタースクール学習支援事業

H30施策評価
4.3

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H30評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		61.7	61.9	104.0	104.0	104.0	
進捗状況	70.7	68.5	63.5	106.4	108.0		
指標2	全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H30評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		59.7	59.9	104.0	104.0	104.0	
進捗状況	73.4	56.0	50.0	103.3	103.1		
指標3	全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H30評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		53.2	53.4	104.0	104.0	104.0	
進捗状況	67.3	66.1	49.0	101.9	102.5		
指標4	全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H30評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		61.2	61.3	104.0	104.0	104.0	
進捗状況	62.8	48.2	52.0	102.3	104.1		
指標5	児童質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		84.0	84.5	85.0	86.0	86.0	
進捗状況	83.1	87.7	87.4	88.7	82.1		
指標6	児童質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		70.5	71.0	72.0	73.0	74.0	
進捗状況	69.8	70.7	74.4	74.3	81.2		
指標7	生徒質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		80.0	80.5	81.0	84.0	84.0	
進捗状況	79.1	85.0	84.2	86.1	81.2		
指標8	生徒質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		70.0	71.0	72.0	73.0	74.0	
進捗状況	69.0	70.5	71.6	73.2	85.1		

○継続した授業改善の取組により、全国学力調査で、全国平均正答率を上回った。

○【全国学力・学習状況調査による学力実態:正答率】

- ・国語A・・・小学校:73.4%(全国比+2.7)
 中学校:76.4%(全国比+0.3)
- ・国語B・・・小学校:59.1%(全国比+4.4)
 中学校:62.7%(全国比+1.5)
- ・算数数学A・・・小学校:66.3%(全国比+2.8)
 中学校:67.6%(全国比+1.5)
- ・算数数学B・・・小学校:53.1%(全国比+1.6)
 中学校:48.8%(全国比+1.9)
- ・理科・・・小学校:62.0%(全国比+1.7)
 中学校:67.1%(全国比+1.0)

○算数・数学の単元評価問題等の配信を継続し、それに活用問題を加えた。単元評価問題の活用方法が定着してきていると同時に、指導の要点を基に指導をしながら取り組む学校が増えた。

○理科支援員配置希望の募集を行い、82校の希望があった、これまでの配置状況から検討し、今年度31校に理科支援員を配置した。各校で有効に活用され、理科の授業の観察・実験等が円滑に進められたという肯定的なアンケート結果が得られた。

○7月末までに97人の学習支援ボランティアが登録され、授業等の補助等に当たり、各校で有効に活用されているとともに感謝の声が寄せられた。

○アフタースクール学習支援事業については、1-（1）に記載のとおり。

1-(4) アグリ・スタディ・プログラムの推進

主な事業 ・「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進事業

H30施策評価
4.0

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施している小学校の割合(%)						H30評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標2	アグリ・スタディ・プログラム評価・サポート委員会によるプログラムの検証率(%)						H30評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	25.0	50.0	75.0	100.0	100.0	100.0	
進捗状況	-	25.0	50.0	75.0	100.0	100.0	

□すべての小学校が「アグリ・スタディ・プログラム(ASP)」に基づく体験学習を実施した。

○総合推進会議、推進委員会、評価・サポート委員会、アグリパークを語る会などを開催し、ASPの改善点を明確にし、各学校に周知した。

○ASP研修会を4回(うち1回は宿泊研修)開催し、活用のポイントを周知した。

1-(6) 読書活動の推進と新聞活用の充実

主な事業 ・学校図書館活用推進校事業 ・学校図書館支援センター事業
・学校図書館支援事業 ・新聞活用の推進

H30施策評価
3.3

【NEXT5】

○子どもの読書活動を推進するとともに、市民が自ら課題解決を図るための読書環境を充実していきます。

●施策の目標

指標1	学校図書館を活用した授業を「月に数回程度」行った小学校の割合(%)						H30評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3
指標目標	78.0	79.0	80.0	81.0	82.0	82.0	
進捗状況	77.2	75.6	46.8	74.7	75.5	75.5	
指標2	学校図書館を活用した授業を「学期に数回程度」行った中学校の割合(%)						H30評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	60.0	
進捗状況	55.1	62.1	55.2	71.9	70.2	70.2	
指標3	中学生の不読率(%)						H30評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	2
指標目標	12.0	11.5	11.0	10.5	10.0	10.0	
進捗状況	12.1	12.3	11.8	11.4	12.3	12.3	
指標4	ほぼ毎日新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)→H29～週に1回以上新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3
指標目標	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	
進捗状況	2.7	1.0	1.1	1.6	2.5	2.5	

□学校図書館を活用した授業が、継続して行われている。

○学校図書館活用推進校として、小学校22校、中学校14校を指定し、5月に学校図書館活用推進校研修会を実施した。「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を高めるための取組について共通理解を図った。2月の実践報告会では3つのセンターの機能を意識した取組が報告された。

○新聞活用教育(NIE)推進校として、各区1校(小学校8校、中学校8校)を4月に指定し、新聞を複数紙配備した。各校の新聞活用計画に基づき実践が進められた。

○学校司書を全ての市立学校(小・中学校、中等教育学校、特別支援学校、高等学校)に配置するとともに、蔵書管理システムの円滑な運用を図るためのサポートを継続して行った。

2 豊かな心と健やかな体の育成

2-(2) 一人一人の成長を促す生徒指導の推進

主な事業 ・いじめ対策等生徒指導推進事業
・教育相談ネットワーク事業
・カウンセラー等活用事業

H30施策評価
4.3

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	新潟市生活・学習意識調査の「自律性」「社会性」にかかわる質問項目のうち、肯定的な回答が前年度の数値を上回った項目の割合(%)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	66.7	66.7	67.0	70.0	75.0	75.0	
進捗状況	61.1	83.3	69.2	90.9	83.7	83.7	
指標2	小学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H30評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	97.0	97.0	97.0	97.0	
進捗状況	96.2	99.1	95.8	97.4	98.3	98.3	
指標3	中学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H30評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	97.0	95.0	95.0	95.0	
進捗状況	94.5	96.3	98.1	94.2	96.4	96.4	
指標4	小学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
指標目標	0.38	0.38	0.38	0.40	0.64	0.64	
進捗状況	0.40	0.40	0.44	0.56	未発表	未発表	
指標5	中学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
指標目標	2.65	2.62	2.60	2.64	3.23	3.23	
進捗状況	2.69	2.64	2.64	3.11	未発表	未発表	

□いじめの未然防止、早期発見、対処に関する取組が進んでいる。

○いじめ・不登校の適切な対応のために平成30年4月に「いじめ・不登校の初期対応ガイドブック」を作成し全教職員へ配付した。配付に伴い、校長対象の説明会を実施し、いじめ・不登校の初期対応についての考え方や体制・組織等についての周知を図った。

○児童・生徒の自律性・社会性の育成及び問題への適切な対応に向けて、学校訪問等の機会をとらえて、指導・支援を行った。

○「いじめ防止市民連絡協議会」「いじめ防止対策等専門委員会」を計画的に実施し、いじめの現状について情報共有を図るとともに、未然防止等に向けた取組や具体的な事案への対応の検討等を行った。

○不登校児童生徒に対する組織的な支援と小中一貫した継続的な支援のために、「児童生徒理解・教育支援シート」の活用推進を図った。

3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成

3-(2) 外国語教育・国際理解教育の充実

主な事業 ・外国語指導助手(ALT)配置事業
 ・国際交流事業
 ・外国語教育支援事業

H30施策評価
3.5

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

指標1	新潟市生活・学習意識調査(小6)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童の割合(%)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3
指標目標		75.0	75.0	82.0	80.0	75.0	
進捗状況	74.5	73.8	81.1	78.2	74.0		
指標2	新潟市生活・学習意識調査(中3)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した生徒の割合(%)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		56.5	56.5	57.0	61.0	60.0	
進捗状況	56.0	54.6	56.7	60.6	59.1		

英語授業の充実のため、教員及びALTの研修の充実を図った。

○ALTの全校配置と担当時数の増加により、パフォーマンス評価における研究が深まった。

○ALTが各校で自らの授業を録画したものを、月例ALT研修会においてグループ視聴し、意見交流を図る活動を行うことにより、授業技術の改善を図った。また、新学習指導要領に関する研修も実施し、英語教育の方向性を確認することができた。

○12月の外国語マネジメント研修において、小中高の教員が一堂に会して「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」研修協力校の実践発表と大学教授の指導を受け、それらを基に議論をすることにより校種間理解を深めることができた。

3-(3) 情報教育の充実とICTを活用した教育の取組

主な事業 ・タブレット等ICT活用研修(教職員研修)

H30施策評価
4.3

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

指標1	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学ぶ合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した小学校教職員の割合(%)						H30評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		66.6	66.6	70.0	90.0	90.0	
進捗状況	65.7	60.3	98.0	100.0	92.5		
指標2	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学ぶ合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した中学校教職員の割合(%)						H30評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		51.0	51.0	55.0	55.0	55.0	
進捗状況	50.0	50.0	97.0	98.2	94.7		
指標3	「アクティブ・ラーニング」の実施した学校の割合(%)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
進捗状況	92.0	95.0	100.0	100.0	100.0		

小・中学校で、情報通信技術を活用した協働学習や、課題解決型の学習指導の実施が定着してきている。

○教職員の指導スキルの向上を図る研修会を実施するとともに、教材を更新することを通して、ICT機器を活用した協働型・双方向型の授業を9割以上の教職員が実践した。

○アクティブ・ラーニングについては、研究主任の研修会や学校訪問を通して、各校で重点化を図ることができるように働き掛けてきた。各校において、実態に応じて重点化した研修の取組が推進され、主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、授業改善に取り組まれていた。

3-(5) 海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進

主な事業 ・日本語指導協力者派遣事業
 ・外国人児童生徒への支援体制の整備

H30施策評価
5.0

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

指標1	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						H30評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
進捗状況	85.0	81.8	82.1	85.0	91.4		

海外帰国・外国人児童生徒が学校生活にスムーズに適應できた。

○各校から要請のあった児童生徒32名(24校1園)に対して、延べ29名の日本語指導協力者を派遣した。母語が分かる協力員の派遣も継続して行った。

○日本語指導協力員の継続的な派遣により、日本語の上達だけでなく、対象児童生徒が学校生活にスムーズに適應でき、生活全般の落ち着きにつながっているという事例の報告があった。

4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進

4-1(1) 子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進

主な事業・インクルーシブ教育システム構築の推進事業

H30施策評価
4.0

【NEW5】

○共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を始めます。

●施策の目標

指標1	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						H30評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
進捗状況	1,500	1,616	1,585	1,749	1,460		

□特別支援教育に関する公的研修の定着とともに、ニーズに応じた人的な支援を充実することができた。

○特別支援教育管理職研修を1回実施。合理的配慮セミナーは3回実施した。全校体制で支援ニーズのある子どもへの「合理的配慮」のあり方について研修を行うことができた。

○明鏡高等学校の通級指導教室を開始した。

○支援を配置基準に従って配置。学校看護師は、対象の児童5名に対して学校看護師を配置。支援ニーズに応じた人的な支援を充実することができた。

4-1(3) 早期からの就学相談・支援の充実

主な事業・早期からの就学支援の推進

H30施策評価
5.0

【NEW5】

○共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を始めます。

●施策の目標

指標1	入学支援ファイルの活用件数(年度ごとの数)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	300	350	310	350	400		
進捗状況	280	331	315	362	446		

□小学校新入学生の「入学支援ファイル」のより一層の活用のため、目的や活用例を説明した。

○就学前の保護者・幼児教育・保育・療育・相談機関からの願いと支援情報を学校に引き継ぐための連携ツールである「入学支援ファイル」を相談に来られた保護者に説明し、配付した。

○「入学支援ファイル」活用状況調査において、新入生の「入学支援ファイル」の提出数は446人であり、全新生の6.9%が提出している。提出数及び提出率ともに年々増加した。特別支援学級在籍者の提出率は91%と、こちらも年々増加している。年度初めに市内全小学校に「入学支援ファイル」の目的や活用について説明し、連携を促した。

5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり

5-1(1) 新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組

主な事業・小中一貫教育パイロット事業
・学校間連携推進事業

H30施策評価
4.3

【NEW5】

○未来の新潟を担う子どもたちの生きる力の育成のため、校種間の連携をさらに進めます。

●施策の目標

指標1	新潟市一貫教育推進協議会(回)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	-	発足	3	2	2	2	
進捗状況	-	発足	3	2	2		
指標2	新規パイロット事業実施中学校区数(延べ数)→H29～新潟市にふさわしい小中一貫した教育に取り組んだ中学校区数(延べ数)						H30評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	-	-	4	8	24	40	
進捗状況	-	-	4	8	26		
指標3	学び方等、共通の取組を設定した中学校(校区数)						H30評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	-	56	56	56	56	56	
進捗状況	-	55	56	56	56		

□小中一貫教育についてのホームページを作成し、一貫教育の方向性を広く周知することができた。

○小中一貫教育部会では、「新潟市にふさわしい小中一貫した教育の基本的な考え方」や「Q&A」等、事業に関する共通理解を促すための資料を作成するとともに、資料を基に、各パイロット中学校区の取組を見直すことができた。また、ホームページを作成し、パイロット中学校区以外の学校で一貫した教育を進める際の参考になるようにした。

○小中学校において、学習の仕方に関する情報交換が進み、「学習課題とまとめ」「振り返り」のある授業が浸透している。中学校が小学校の家庭学習の取組を参考にして同様の取組をするなど、小中のつながりを意識した取組が見られるようになった。

5-2 幼児教育の充実と幼保小連携の推進

主な事業・幼保小連携推進事業
・幼保小合同研修会

H30施策評価
4.3

【NEW5】

○未来の新潟を担う子どもたちの生きる力の育成のため、校種間の連携をさらに進めます。

●施策の目標

指標1	幼稚園・保育園との連携の充実を図り、小学校への円滑な接続を図るための教育懇談会を実施した小学校の割合(%)						H30評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		10.0	95.0	100.0	100.0	100.0	
進捗状況	-	90.0	100.0	100.0	100.0		
指標2	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている小学校の割合(%)						H30評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		10.0	40.0	70.0	70.0	70.0	
進捗状況	-	30.0	72.0	72.0	82.0		
指標3	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている市立幼稚園の割合(%)						H30評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		27.3	90.0	100.0	100.0	100.0	
進捗状況	-	81.2	100.0	100.0	100.0		
指標4	隣接する小学校区における、幼稚園、保育園、小学校等の職員を交えた研究保育を年間複数回実施した市立幼稚園の割合(%)						H30評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		18.1	63.6	90.0	90.0	90.9	
進捗状況	-	54.5	90.0	90.0	90.0		

○各種の研修会を通じて、新潟市共通接続カリキュラム(アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム)についての意識・理解が高まった。

○保育園・私立幼稚園・こども園の研修会と市立幼稚園の研究保育・研修会が相互に案内され、参加することにより、幼保等の連携が図られた。

○市立幼稚園教育研究協議会や市立幼稚園教頭・主任会の研修会において、アプローチ・カリキュラム作成及び幼保連携について指導・助言したことにより、幼小連携、幼保連携が図られた。

8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実

8-2 学び育つ各世代への支援

主な事業・にいがた市民大学開設事業・現代的課題を学ぶ公民館事業
・学習成果を発表する場の提供・子どもの読書環境の整備
・子どもが読書に親しむ機会の充実
・仕事やくらしの課題解決のための情報提供事業

H30施策評価
3.7

【NEXT5】

○子育てや各世代の学びに対する支援に努め、地域の教育力の活用を推進します。

●施策の目標

指標1	にいがた市民大学の受講率(%)						H30評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	
進捗状況		84.5	122.5	112.5	92.0	92.0	
指標2	現代的課題を学ぶ事業の実施						H30評価
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
指標目標		実施	実施	実施	実施	実施	
進捗状況	-	実施	実施	実施	実施	実施	
指標3	文化祭・芸能祭等の実施						H30評価
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
指標目標		実施	実施	実施	実施	実施	
進捗状況	-	実施	実施	実施	実施	実施	
指標4	児童書の貸出冊数(冊)12歳以下の子ども1人あたり						H30評価
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		12.2	12.4	13.2	13.1	13.2	
進捗状況		12.1	13.1	13.0	13.2		
指標5	レファレンス受付件数(件)						H30評価
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3
指標目標		72,000	72,800	90,000	99,000	94,000	
進捗状況		69,600	83,157	94,580	98,077	93,559	

○市民に向けた学びの場の確保に努めた。

○にいがた市民大学では、前期講座は講義形式による大学コンソーシアム連携講座を実施したり、市民ニーズを講座企画に盛り込んだりする等、時代や社会の要請に応えた専門性の高い講座を合計5講座開設した。また、新潟港開港150周年に関連した後期ゼミナール1講座と150周年推進課とのパートナーシップ事業として短期回数特別講座1講座を開設した。後期ゼミナール終了後には、自主学習グループが1つ結成され、市民の主体的な学習活動につなげた。

○「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づく事業の実施
・ブックスタート事業を継続実施し、家庭での読み聞かせの大切さを伝えるとともに、親子のコミュニケーションづくりのきっかけとなるよう働きかけた。(ブックスタートは、3月末時点で5,572名に実施)
・「赤ちゃんタイム」を全図書館(19館)で実施し、赤ちゃんと来館する方が気軽に利用できる環境の整備を進めた。
・「うちどく(家読)」推進のため、中央図書館で「子ども司書講座」を実施した。(10名参加)

9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進

9-1 地域と共に歩む学校づくりの推進

主な事業・地域と学校パートナーシップ事業
・ふれあいスクール事業
・公民館出前型事業

H30施策評価
4.3

【NEXT5】

○学・社・民の融合による教育を推進します

○学校とボランティア、そして公民館等の協働がより一層進んだ。

●施策の目標

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)						H30評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		1,240	1,270	1,640	1,670	2,020	
進捗状況		1,210	1,531	1,611	1,664	1,989	
指標2	ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29~ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)						H30評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	2
指標目標		2.00	2.10	49	51	53	
進捗状況		1.93	1.97	2.02	49	43	
指標3	土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29~土曜プログラム活用校数(校)						H30評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		4	4	20	24	27	
進捗状況	-	4	4	24	34		
指標4	公民館出前型事業の実施校数(校)						H30評価
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		66	67	94	103	120	
進捗状況		66	72	89	103	127	

○地域と学校パートナーシップ事業については、地域から多くの学校支援ボランティアの協力を得て、学習活動の充実、子どもたちの人間関係の広がりや深まり、子どもたちが認めてもらえる機会の増加がみられた。また、学校の地域貢献活動や社会教育施設及び地域コミュニティ協議会との協働事業が増加傾向にある。

○公民館出前型事業は、学校と地域教育コーディネーターと協働しながら講座の企画と運営をし、地域団体と連携して防災講座や家庭教育講演会をはじめ、夏休みを利用して様々な体験講座などを実施した。

9-(4) 高等教育機関及び企業との連携推進

主な事業・高等教育機関活用推進事業
・図書館と教育機関・企業との連携・協力

H30施策評価
4.3

【NEW5】

○学校や公民館・図書館などにおいて、多様なニーズに応じた学習機会の充実を図るため、企業や民間団体と連携する取組を始めます。

●施策の目標

指標1 高等教育機関からの専門的な情報提供、指導等を受けている教育課題(課題)							H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	1	2	3	3	4	4	
進捗状況	1	2	3	4	4	4	
指標2 にいがた市民大学の受講率(%)							H30評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	84.5	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	
進捗状況	84.5	122.5	112.5	92.0	92.0	92.0	
指標3 連携・協力の実施状況(連携事業数)(件)							H30評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	9	9	9	9	9	9	
進捗状況	9	11	11	10	10	10	

□高等教育機関・企業等と連携・協力し、多様なニーズに応じた学習機会を提供した。

○高等学校通級においては、明鏡高等学校での通級指導の周知と充実に取り組んだ。また、市立高等学校職員に、ニーズ調査を行った。

○新潟大学附属図書館と新潟県立図書館の間で配本ネットワークを実施し、利用者への本の提供を迅速に行うことができた。

○企業や民間団体等への団体貸出を行い、地域の身近な場所へ本を提供することにより読書環境の充実に努めた。

○新潟市とイオンリテール株式会社との包括連携協定の記念イベントに、「おでかけほんぼーと」として参加し、図書館サービスのPRに努めた。

10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進

10-(1) 防災・安全教育の充実

主な事業・「防災教育」学校・地域連携事業(ふるさと新潟防災教育推進事業)

H30施策評価
4.0

【NEW5】

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

●施策の目標

指標1 「防災教育」学校・地域連携事業指定校数(校・累計)							H30評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	8	34	68	102	136	166	
進捗状況	8	34	69	102	134	134	

□「防災教育」学校・地域連携事業により、小中学校及び地域と連携した自校化プログラムの作成が進んでいる。

○「防災教育」学校・地域連携事業に32校を指定し、各中学校区における防災教育の現状と課題を共有し、小中及び地域と連携した自校化プログラム作成について協議を行っている。

○各実践校では、地域と連携した避難訓練を行うなどの取組が行われるようになり、地域と連携した取組が広がってきた。

10-(4) 学びを支援する体制の整備と充実

主な事業・就学援助事業
・奨学金貸付事業(高校～大学院)
・社会人奨学金貸付事業

H30施策評価
4.0

【NEW5】

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

●施策の目標

指標1 就学援助制度の保護者への周知率(%)小学校							H30評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標2 就学援助制度の保護者への周知率(%)中学校							H30評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標3 奨学生(高校～大学院)の採用率(%)							H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標4 奨学生(社会人)の採用率(%)							H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標5 ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)							H30評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	2
指標目標	1.93	2.00	2.10	49	51	53	
進捗状況	1.93	1.97	2.02	49	43	43	
指標6 土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)							H30評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	-	4	4	20	24	27	
進捗状況	-	4	4	24	34	34	
指標7 放課後の学習支援をする中学校(校)							H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	-	56	56	56	56	56	
進捗状況	-	56	56	56	56	56	

□就学援助事業、奨学金貸付事業を着実に実施し、保護者や採用者に対する経済的負担の軽減を図った。

○就学援助は、私立学校を含めて全ての小・中学校で、4月に保護者全員に「就学援助制度についてのお知らせ」を配布した。児童生徒数58,251人のうち、認定者数13,245人の保護者に対して、学校にかかる学用品費や給食費などの一部を援助し、保護者の経済的負担の軽減を行った。また、就学援助制度の在り方や方向性を検討するにあたり、義務教育などに係る保護者の経済的な負担やニーズを把握するための実態調査を行った。

○奨学金制度は、募集定員101人に対し、同数人数の応募があった。選考基準を満たした募集員100人に採用決定し、貸付を行い、高等教育の機会均等を図った。本市への定住促進を図るため、返還者に対して納付書に「返還特別免除制度」のチラシを同封した。

○社会人奨学金制度は、募集定員6名に対し、1人の申請があった。キャリアアップを目指す社会人学生に対して経済的支援を行った。

11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備

11-1 効果的な指導を支援する施設設備の充実

主な事業 ・学校ICT環境整備事業
・教育ネットワーク構築事業

H30施策評価

4.0

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

指標1	タブレット型コンピュータを整備した小・中学校の割合(%)						H30評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	5.0	34.0	68.0	90.0	100.0	100.0	
進捗状況	5.0	34.0	68.0	90.0	100.0		
指標2	教育ネットワークの構築						H30評価
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	-	調査・研究	調査・研究	導入方法検討	計画策定	開発	
進捗状況	-	調査・研究	調査・研究	調査検討	計画(案)策定		

学校内のコンピュータ教室用の端末等機器、教職員用コンピュータの更新を計画通りに実施した。

○教育用コンピュータ、教職員用コンピュータの更新については以下のとおりである。
・教育用コンピュータ 45校 1,168台(内タブレット190台)更新
・教職員用コンピュータ 44校 630台 更新
共に当初の計画通り更新を行った。

○教育ネットワーク構築基本計画(案)を作成した。

12 市民に信頼される教育関係職員の育成

12-1 教育関係職員の研修プログラムの充実

主な事業 ・教育関係職員の研修プログラムの一層の充実
・学社民融合研修の推進

H30施策評価

4.0

【NEXT5】

○市民から信頼される学校・教育機関となるよう、人材の育成と職場の環境整備を進めます。

●施策の目標

指標1	各研修講座における受講者の満足度と活用度(%)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	80.0	80.0	85.0	85.0	88.5	90.0	
進捗状況	80.0	87.0	87.5	88.1	91.1		
指標2	マイスター養成塾修了者(人)						H30評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	102	102	108	110	128	133	
進捗状況	102	103	110	121	128		
指標3	学社民融合研修会の実施(回)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	7	7	7	7	8	8	
進捗状況	7	7	7	8	8		

研修プログラムの改善により、講座受講者の満足度と活用度が目標を上回った。

○平成30年度教育関係職員の研修プログラムとして、開講・実施した講座は以下のとおりである。
・キャリアステージ研修64講座、延べ受講者数 4,272人
・専門研修70講座、延べ受講者数 3,379人(計134講座 延べ受講者数7,651人)

○キャリアステージ研修における法定研修・若手教師道場は、「マンツーマンの授業づくり研修」の体制を堅持して実施できた。キャリアステージ研修講座修了後に実施した受講者の満足度評価では、肯定的評価が95%以上を占め、受講者のニーズに対応した丁寧な研修が評価された。

○パートナーシップ事業研修会に公民館の学社民融合支援主事、図書館職員が計78名が参加して、地域教育コーディネーターとの情報交換を行い、ネットワークづくりを促した。

13 ニーズと課題に応える教育行政の創造

13-1 新潟らしい教育改革の推進

主な事業 ・区教育ミーティングの開催
・中学校区教育ミーティングの開催

H30施策評価

4.0

●施策の目標

指標1	区教育ミーティングの開催(回)						H30評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	16	16	16	16	16	16	
進捗状況	16	16	16	16	16		
指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)→H29~(中学校区数)						H30評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	8	32	56	28	28	17	
進捗状況	8	32	56	28	28		

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

教育委員が各教育ミーティングに参加し、地域や中学校区の取組・課題の共通理解を図った。

○区教育ミーティング(各区2回実施)
平成30年度の地域と共に進める主な施策について情報提供し、またフリーテーマでの意見交換を行った。地域と学校との関わりについての成果や課題、教員の多忙化解消問題、登下校の子どもたちの見守りなどについて、参加者と教育委員で活発な意見交換が行われた。

○中学校区教育ミーティング(28中学校区で実施)
防災教育をテーマとし、学校単位で作成されている防災教育プログラムに沿った取組を紹介するとともに、防災教育について地域と連携した進め方を意見交換した。

※中学校区教育ミーティングの実施回数は、平成30年度までは2年間で全中学校を実施したが、平成31年度(令和元年度)以降は3年間で全中学校区を実施する予定である。

3 教育ビジョン推進委員からの主な質問・意見・要望と教育委員会の対応

施策 1-(2)「学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進」

○「高大接続改革と指導と評価の一体化」に関して、「進路指導の一層の充実を図る」という記載がある。教育委員会では具体的にどの程度まで、もしくはどのような形で考えているのか、もし具体案があったら教えてほしい。

⇒市立高等学校キャリア教育推進事業や、文部科学省で推進している事業などを有効に活用している。今後は先進校の視察を行い、自校の取組に活かしてもらおうと考えているところである。また、大学入試が変わっていく中で、高校の授業自体も変えていかなければならないということが急務になっている。私どもも文部科学省に行って研修を受け、市立3校にしっかりと伝達をしたり、あるいは市立3校の先生方から文部科学省の説明会に行ってもらったりしている。最新の情報を得て、それを今後の学習指導、進路指導に活かしていきたいと考えている。

施策 1-(3)「基礎・基本を身に付ける教育の推進」

○文部科学省は英語教育実践状況調査を行っている。中学3年生で英検3級以上を想定した学力をもつ生徒は全国で40%くらい。それに対して新潟県の値は30%台であり、英語に関しては全国平均に及ばない。全国学力調査以外の教科の対策について、何か考えがあるか。

⇒英検の所持率は、新潟市も低い状況である。検定を受けるように校長会等を通じて働きかけている。さらに、教員についても英検受検希望者に対して受検料の全額補助をしている。しかし、なかなか数値が上がってこないというところは確かである。今年度の全国学力・学習状況調査で初めて英語の「話すこと」調査が導入されたが、結果が夏には出る予定である。その結果を見ながら、まず外国語（英語）について対策を進めていく。

施策 1-(5)「学習習慣の定着」

○指標1に設定されている家庭学習は、何を想定した家庭学習と捉えているか。また、「中学2年生の1時間以上の学習」を家庭学習定着の指標としている理由は何か。

⇒家庭学習の中には、宿題等も含めてカウントしている。

⇒設定した背景を十分に把握していない。しかし、中学2年生で1時間は確かに少ない。家庭学習の定義及び目標とする時間の設定については、学校の実態等を十分に踏まえて検討していく。

○新潟県は全体的に中学生の学習時間は少ないが、改善目標として市教育委員会としては、どんなところを目指すのか。

⇒何時間やったからいいという、数値だけではなくて、そこに向かう子どもの意欲とか自主性とか、そういった点を大事にしていきたい。ただ、目標となる「何時間」というのはやはり必要であり、内容面と量の面とでどのように目標を設定していくのかということ、現場の先生方の声なども聞きながら設定していく。

施策 1-(6) 「読書活動の推進と新聞活用の充実」

○「中学生の不読率」が「2」となっているが、1年間をとおして、全く本を読まない中学生が、これだけの割合いるということか。

⇒残念な数値だが、インターネットの普及であったり、子どもたちの生活が一変したりしていることから、なかなか本にじっくりと向き合う時間が取れない、そういう意欲もなかなか身に付いていない、という現状から約 12%前後の数値になっていると考えられる。電子書籍等が普及しており、それを通じて読書をする生徒も多くなってきている。その辺の数字の取り方についても考慮に入れ、今後質問の内容を検討していく。

※（参考）平成 30 年度新潟市生活・学習意識調査（教育総合センター集計による市内全中学生へのアンケート，11 月実施）の項目による。対象項目：「この1か月に本をどれくらい読みましたか。（教科書，参考書，マンガ本，雑誌を除きます。）」

→結果：0 冊 12.3%，1～3 冊 50.8%，4～6 冊 20.9%，7～9 冊 6.9%，10 冊以上 9%

施策 2-(2) 「一人一人の成長を促す生徒指導の推進」

○「いじめ解消率（％）」というのは、「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合ということだが、このモニタリングの根拠（指標）は、どのようなものか。

⇒この数値は、文部科学省で行っている問題行動調査を基にしている。学校がいじめを認知したと報告があったものについて「発生」とカウントしている。「解消」についても、学校での経過をしっかりと見ながら「解消した」、「一定の解消が見られた」という報告のあった数値を、学校支援課でも確認しながら判断をし、解消率としている。

施策 3-(2)「外国語教育・国際理解教育の充実」

○これから本格的に「外国語」が教科として導入されてくるので、小学校の外国語・外国語活動は、もう少し「好き」という子どもが増えてほしい。

⇒目標は80%を指標として掲げているので、結果の74.0という数字はやや低いと思っている。外国語が本格実施となるのを機に数値が上がるよう、各学校の取組が充実するよう支援していく。

※(参考)平成30年度新潟市生活・学習意識調査の項目による。「外国語の勉強が好き」74%、「外国語の授業は分かる」82.9%(平成29年度までの項目は「外国語活動の勉強が好き)」

施策 5-(1)「新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組」

○「中学校が小学校の家庭学習の取組を参考にして同様の取組をするなど」という記載があるが、具体的にどのようなものなのか。

⇒小学校で、毎日「帰りの会」の前に、家に帰ったらどんな勉強をするのかを家庭学習ノートに記入し、その計画に沿って家庭学習をするという取組である。家庭学習ノートには、その日の授業で記録したノートを見てもう一度家で勉強し直したり、自分なりに調べた内容を書いたり、素晴らしい取組がされている。この取組を当該中学校区で情報共有し、このような家庭学習をしてきた習慣を活かし、中学校でも継続しているという例である。

施策 10-(4)「学びを支援する体制の整備と充実」

○就学援助の周知率は、全児童生徒の家庭に配布したということで100%になっているが、この4年間100%が続いている。この指標目標をこのまま続けていくのか。一方、就学援助認定者数の割合を見ると全体の22.8%であるが、これによしとするのか。また、奨学生(社会人)の採用率は、募集定員6名のうち1名の申請ということで100%としているが、その根拠は何か。

⇒成果指標というよりも活動指標となっている。この2つの指標に対しては、今後どういった指標が考えられるか検討する。アンケートを取り、満足度指標を採用する案も検討しているが、第3期実施計画が今年度で終わるため、指標の継続性から今年度まではこの指標を継続し、第4期実施計画において新しく指標を設定したい。

奨学生については採用率ということで、条件を満たして奨学金を受けたいという方に対して支給することができたか、という指標である。社会人の奨学金においては、応募者1名に対し

て、きちんと奨学金を貸すことができたため 100%としている。逆に予算以上に応募があった場合には貸せないということもあり、そのときは率が下がることになる。

施策 11-(1) 「効果的な指導を支援する施設設備の充実」

○タブレット型コンピュータを整備した小・中学校の割合が 100%となっているが、この数字の内容はどのようなものか。

⇒現在小・中学校で各校 13 台の整備を目標にしており、それが整備されたかという指標である。基本的に 1 校で 13 台、2020 年度においては 16 台まで目標を上げていく。問題は、大規模校でも小規模校でも同数台の整備であり、学校規模によって使う頻度が極端に変わるということである。国の指標では 3 クラスに 1 クラス分のタブレットを整備するという計画がある。新潟市規模になると財政規模として相当な額であるため、現在では 2020 年度までには 16 台を、全小中学校に整備することとしている。

施策 12-(2) 「教職員への支援体制の充実」

○教職員の多忙化解消対策について、意識啓発として挙げた事柄が「平成 30 年度事業成果」と「平成 31 年度の取組」ではその表記がなくなっている。平成 30 年度はどうなったのか、また平成 31 年度はどうしていくのか。

⇒取組をやめたということではなく、例えば 1 校 1 取組についてはもう定着したものとして継続を続け、好事例についても情報共有をして、様々な学校で取り入れていくようにしている。

「31 年度の取組」の中に入れたものについては、第 2 次多忙化解消行動計画の中で、さらに重点的に取り組んでいきたいものを中心に挙げているため、平成 30 年度に載っていたものをやめたということではない。

施策 13-(2) 「効果的・効率的な執行体制の整備」

○総合教育会議のところで「支持的風土の醸成」という表現があるが、説明がほしい。

⇒今年度、学校支援課が一つの重点として全学校に示しているものであり、「支持的風土」を「認め合い、助け合い、期待をかけ合い、高め合う、温かい学級の風土」と定義している。

3 月に行われた総合教育会議の、学力向上プログラムの説明でもこの言葉を使っている。

参考資料 新潟市教育ビジョン推進委員会平成30年度施策評価経過

No.	開催会議等	開催年月日	協議内容等
1	第38回推進委員会	平成30年 2月13日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度当初予算主要事業について 教育ビジョン成果指標の見直しについて
2	第40回推進委員会	平成30年 11月6日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度施策実施状況について(中間評価)
3	第42回推進委員会	令和元年 6月5日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度施策評価について

新潟市教育ビジョン推進委員会（第6期）委員名簿

任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日

(50音順)

No.	氏名	所属
1	小林 利花子	公募委員
2	高橋 恒彦	新潟市中学校長会・東新潟中学校長
3	高橋 文子	新潟県生涯学習協会事務局長
4	田中 一昭	新潟市小中学校PTA連合会副会長
5	中村 恵子	新潟青陵大学看護学部教授
6	畠山 典子	新潟市小学校長会・関屋小学校長
7	松井 賢二	新潟大学教育学部教授

新潟市教育ビジョン推進委員会（第7期）委員名簿

任期：平成30年4月1日～令和2年3月31日

(50音順)

No.	氏名	所属
1	鏡 十代栄	公募委員
2	小見 直樹	新潟市小中学校PTA連合会副会長
3	佐藤 朗子	新潟青陵大学福祉心理学部教授
4	高橋 文子	新潟県生涯学習協会事務局長
5	逸見 東子	新潟市中学校長会・光晴中学校長
6	本間 アユ子	新潟市小学校長会・味方小学校長
7	松井 賢二	新潟大学教育学部教授

議案第17号

2020年度使用 新潟市立高等学校用 教科用図書採択について

2020年度使用 新潟市立高等学校用 教科用図書採択について、議決を求める。

令和元年8月30日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

2020年度使用 新潟市立高等学校用 教科用図書選定理由は次のとおり。

2020 年度

新潟市立万代高等学校用教科用図書選定理由

2020年度使用教科用図書 万代高等学校選定理由1

<第1部>

種目	発行者の		教科書の 記号・番	教科書名	需要類型及 び学年	選定理由
	番号	略称				
国語総合	15	三省堂	国総 336	高等学校 国語総合 現代文編 改訂版	普通科：1年 英語コース： 1年 理数コース： 1年	教材が多彩で基礎から発展学習まで効果的に行えるため。
国語総合	15	三省堂	国総 337	高等学校 国語総合 古典編 改訂版	普通科：1年 英語コース： 1年 理数コース： 1年	内容が多彩でかつ誌面が見やすい。特に、漢文の入門の解説がわかりやすいため。
現代文B	143	筑摩	現B 337	精選現代文B 改訂版	普通科：2年 英語コース： 2年 理数コース： 2年	評論分野に論理的思考力を涵養する教材が使用され、著者の考えが生まれる背景が分かる資料掲載があり、より理解を深められるため。
古典B	2	東書	古B 331	精選古典B 古文編	普通科：2年 英語コース： 2年 理数コース： 2年	教材数が多く、人物・話題等の関連が取れていて、「語句と表現」によって言語理解の深化も図れるため。
古典B	2	東書	古B 332	精選古典B 漢文編	普通科：2年 英語コース： 2年 理数コース： 2年	相互に関連する題材が多く、「語句と表現」によって言語理解の深化も図れるため。
世界史A	46	帝国	世A 314	明解 世界史A	普通科：1年 英語コース： 1年 理数コース： 1年	写真・地図が多く、特に地図が工夫されている。
世界史B	81	山川	世B 310	詳説世界史 改訂版	普通科：3年 英語コース： 3年	最新の研究成果が導入されている上、歴史的事項が細かく整理され、流れもとらえ易い。

2020年度使用教科用図書 万代高等学校選定理由2

日本史B	81	山川	日B 309	詳説日本史 改訂版	普通科：2年 英語コース： 2年	最新の研究成果が導入されている上、歴史的事項が細かく整理され、流れもとらえ易い。
地理A	46	帝国	地A 308	高等学校 新地理A	普通科：2年 理数コース： 2年	世界の様々な地域と日本とのかかわりについての説明が充実しており、生徒が内容を身近にとらえやすいため。
地理B	46	帝国	地B 304	新詳地理B	普通科：3年 理数コース： 3年	地形図の読み取り方などの地理的スキルを養う内容が学習内容に合わせて配置されているため。
地図	46	帝国	地図 310	新詳高等地図	普通科：2年 理数コース： 2年	教科書にも掲載されている地域の現状と課題を表した主題図が充実しており、生徒が教科書と関連づけて学習に取り組むのに適しているため。
現代社会	7	実教	現社 314	高校現代社会 新訂版	普通科：2年 理数コース： 2年	GDPの計算など生徒が理解しづらい学習内容について解説するページが充実しており、あらゆる学習レベルの生徒に対応できるため。
倫理	35	清水	倫理 308	高等学校 新倫理 新訂版	普通科：3年 英語コース： 3年 理数コース： 3年	「人間とは何か」「いかに生きるべきか」といった倫理の課題を各単元ごとにわかりやすくまとめてあり、構成のバランスが非常によい。
政治・経済	2	東書	政経 311	政治・経済	普通科：2年 英語コース： 2年 理数コース： 3年	入試に頻出するグラフが多く掲載されており、本文の内容とグラフを関連づけて学習することができるため。
数学 I	104	数研	数 I 327	改訂版 数学 I	理数コース： 1年	他の教科書に比べ問題数が多く、基礎基本が身に付くため。
数学 I	104	数研	数 I 328	改訂版 高等学校 数学 I	普通科：1年 英語コース： 1年	他の教科書に比べ問題数が多く、基礎基本が身に付くため。

数学Ⅱ	104	数研	数Ⅱ 327	改訂版 数学Ⅱ	理数コース： 1年	他の教科書に比べ問題数が多く，基礎基本が身に付くため。
数学Ⅱ	104	数研	数Ⅱ 328	改訂版 高等学校 数学Ⅱ	普通科：2年 英語コース： 2年	他の教科書に比べ問題数が多く，基礎基本が身に付くため。
数学Ⅲ	104	数研	数Ⅲ 322	改訂版 数学Ⅲ	理数コース： 2年	他の教科書に比べ問題数が多く，基礎基本が身に付くため。
数学Ⅲ	104	数研	数Ⅲ 323	改訂版 高等学校 数学Ⅲ	普通科：3年	他の教科書に比べ問題数が多く，基礎基本が身に付くため。
数学A	104	数研	数A 327	改訂版 数学A	理数コース： 1年	他の教科書に比べ問題数が多く，基礎基本が身に付くため。
数学A	104	数研	数A 328	改訂版 高等学校 数学A	普通科：1年 英語コース： 1年	他の教科書に比べ問題数が多く，基礎基本が身に付くため。
数学B	104	数研	数B 325	改訂版 数学B	理数コース： 1年	他の教科書に比べ問題数が多く，基礎基本が身に付くため。
数学B	104	数研	数B 326	改訂版 高等学校 数学B	普通科：2年 英語コース： 2年	他の教科書に比べ問題数が多く，基礎基本が身に付くため。

2020年度使用教科用図書 万代高等学校選定理由4

物理基礎	183	第一	物基 320	高等学校 改訂 物理基礎	理数コース： 2年	図がわかりやすく、また演習にも取り組みやすい。
物理基礎	183	第一	物基 321	高等学校 改訂 新物理基礎	普通科：1年 英語コース： 1年	図がわかりやすく、また演習に取り組みやすい。
物理	104	数研	物理 313	改訂版 物理	普通科：2年	図がわかりやすく、また演習に取り組みやすい。解説も丁寧である。
物理	183	第一	物理 316	高等学校 改訂 物理	理数コース： 2年	図がわかりやすく、また演習に取り組みやすい。
化学基礎	183	第一	化基 321	高等学校 改訂 化学基礎	普通科：1年 理数コース： 1年 英語コース： 2年	説明がわかりやすく、図のカラーも目に優しい。
化学	183	第一	化学 315	高等学校 改訂 化学	普通科：2年 理数コース： 1年	説明がわかりやすく、図のカラーも目に優しい。
生物基礎	2	東書	生基 311	改訂 生物基礎	普通科：2年 英語コース： 2年 理数コース： 2年	「生物」の教科書との連携が良い。参考となる図が多く教科書に集中できる。
生物	2	東書	生物 306	改訂 生物	理数コース： 2年 普通科：3年	図が多くわかりやすい。生物基礎の教科書との連携が良い。重要項目に参考となる関連ページの表記がある。
保健体育	50	大修館	保体 304	現代高等 保健体育 改訂版	普通科：1年 英語コース： 1年 理数コース： 1年	図やイラストを多く使用し、見開き2ページで完結する内容となっているため、生徒が理解しやすい教科書であると判断したため。
音楽 I	27	教芸	音 I 310	MOUSA 1	普通科：1年 英語コース： 1年 理数コース： 1年	生徒に興味関心を抱かせる教材が、幅広く盛り込まれている。
美術 I	116	日文	美 I 305	高校生の美術 1	普通科：1年 英語コース： 1年 理数コース： 1年	分野別に整理され、幅広く内容が盛り込まれている。美術史の資料が多く、様々な技法も紹介されている。
美術 II	116	日文	美 II 304	高校生の美術 2	普通科：3年	Iからステップアップし、IとIIを合わせて充実した資料がそろっている。作品の解説が多くわかりやす
美術 III	116	日文	美 III 304	高校生の美術 3	普通科：3年	表現や鑑賞をより深め、生涯を通して美術にかかわっていくことのできる内容である。

2020年度使用教科用図書 万代高等学校選定理由5

工芸 I	116	日文	工 I 301	工芸 I	普通科：3年	様々な作家や工芸品の写真が載っている。材質の違いと特徴、陶芸の手順もわかりやすい。
書道 I	6	教図	書 I 306	書 I	普通科：1年 英語コース：1年 理数コース：1年	図版が大きく、生徒が手本として観るのに適している。課題として選択している文字も良い。
コミュニケーション 英語 I 総合英語	50	大修館	コ I 338	Genius English Communication I Revised	普通科：1年 英語コース：1年 理数コース：1年	内容が多様かつ生徒の興味関心を引く構成となっており、英語学習に必要な活動が実践しやすい。
コミュニケーション 英語 II 英語理解	15	三省堂	コ II 331	CROWN English Communication II New Edition	普通科：2年 英語コース：2年 理数コース：2年	内容が多様かつ生徒の興味関心を引く構成となっており、英語学習に必要な活動が実践しやすい。
コミュニケーション 英語 III 英語理解	61	啓林館	コ III 335	Revised LANDMARK English Communication III	普通科：3年 英語コース：3年 理数コース：3年	内容理解に関する課末問題が充実しており、5領域に対応した活動を行うことができる。
英語表現 I 総合英語	61	啓林館	英 I 329	Revised Vision Quest English Expression I Standard	普通科：1年 英語コース：1年 理数コース：1年	多彩なテーマに沿って、文法と表現活動を合わせて指導しやすい。
英語表現 II 英語表現	61	啓林館	英 II 323	Vision Quest English Expression II Hope	普通科：2年 英語コース：2年 理数コース：2年	多彩なテーマに沿って、文法と表現活動を合わせて指導しやすい。
英語会話	61	啓林館	英会 303	Sailing English Conversation	普通科：3年	基本的な表現を学習しながら、様々な場面でのコミュニケーション活動が可能である。
家庭基礎	6	教図	家基 312	新 家庭基礎 今を学び 未来を描き 暮らしをつくる	普通科：1年 英語コース：1年 理数コース：1年	人の生活をトータルで見つめ、図表や写真が見やすく、わかりやすくまとめられている。
社会と情報	104	数研	社情 315	社会と情報 Next	普通科：1年 英語コース：1年 理数コース：1年	社会人として必要な情報モラルが初めに学習でき、デジタル情報・情報通信ネットワーク・問題解決の構築等段階的に、基礎的な知識がバランスよく学習できる。視覚的にも見やすく、効率よく学習に取り組むことができるため。
家庭 (専門)	6	教図	家庭 312	フードデザイン cooking& arrangement	普通科：3年	家庭基礎からのつながりがあり、実習内容も適切に選択されている。

2020 年度

新潟市立明鏡高等学校用教科用図書選定理由

2020年度使用教科用図書 明鏡高等学校選定理由1

＜第1部＞

種目	発行者の		教科書の記	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
国語総合	50	大修館	国総 347	新編国語総合 改訂版	普通科 午前部 (1年次) 夜間部 (1年次)	B5版で現代文編・古典編が1冊にまとまっており、挿絵・写真がカラーで読みやすく、学習のポイントがわかりやすい。生徒が取り組みやすい評論が多く取り入れられている。入門編から本格的な内容に移行しやすい構成になっている。
国語表現	50	大修館	国表 307	国語表現 改訂版	普通科 午前部 (2～4年次) 夜間部 (2～4年次)	国語総合Iを履修してから発展的に学習できるものである。カラフルで説明もわかりやすく、図や写真も豊富である。また、様々な文章表現や表現技術の例が多数載せられており、参考にしやすい。
現代文A	183	第一	現A 307	高等学校 改訂版 新編現代文A	普通科 午前部 (2～4年次) 夜間部 (3～4年次)	著名な作品に加え、最近の作家の最新の作品が、バランスよく収録されている。特に小説では、生徒に親しみやすいテーマがあり興味関心を持って取り組める内容になっている。また言語活動の説明や参考資料もよくまとまり扱いやすい。
現代文B	17	教出	現B 327	現代文B	普通科 午前部 (2～4年次) 夜間部 (2～4年次)	単元ごとにステップアップという名称で関連事項がまとめられており、教材と結びつけた指導がしやすい。著名な作品と最新の作品がバランスよく収録されている。
古典A	109	文英堂	古A 303	説話（古今著聞集・沙石集・十訓抄・竹取物語） 隨筆（徒然草・枕草子・方丈記・常山紀談・花月草紙・蘭東事始） 故事・小話 漢詩 史話	普通科 午前部 (2～4年次) 夜間部 (3～4年次)	高等学校の古典教材としてふさわしく親しみやすいもの、古文に対する興味・関心を育み持続させうるもの、当代の世態・人情に迫ることのできるものを選んで構成されている。各ジャンルのバランス、難易度も適当である。
古典B	2	東書	古B 329	新編古典B	普通科 午前部 (2～4年次)	古典としての古文と漢文を読む能力を基礎から発展へと充実させるために適した教材が、さまざまな時代・ジャンルからバランスよく採録されている。生徒の興味を喚起し、教材の理解を促す点から効果的な資料性の高いカラー写真・図版が、教材中や単元扉に適切に掲載されている。
世界史A	35	清水	世A 313	高等学校 世界史A 新訂版	普通科 午前部 (2～4年次)	生徒が世界史学習に興味・関心を持ち、世界史の基本的な知識や技能を習得できるよう、必要かつ十分と思われる事項を平易な文章で丁寧に記述してある。学習の要点や課題を疑問文の形で示し、理解を助ける工夫をしている。写真などの図版を豊富に掲載し、それらを読み取りながら考察を深めることができるよう、解説文なども工夫し、生徒の多様な関心・個性に対応している。
世界史A	46	帝国	世A 314	明解 世界史A	普通科 夜間部 (2年次)	平易な文章に加え、地図・写真が充実している。また、人物・物・食などの特集が組まれ生徒の興味関心を引く題材が豊富である。
世界史B	7	実教	世B 309	世界史B 新訂版	普通科 午前部 (2～4年次)	図・写真が多く、生徒がイメージ豊かに学習できる。世界史Aで学習した内容を発展的に学習できる。

2020年度使用教科用図書 明鏡高等学校選定理由2

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
日本史A	35	清水	日A 310	高等学校 日本史A 新訂版	普通科 午前部 (1~4年次) 夜間部 (3~4年次)	記述がコンパクトで、歴史の見方、考え方を身につけさせやすい。写真・グラフなどが豊富であり、最新の研究成果や多様な視点が採り入れられている。
日本史B	35	清水	日B 313	高等学校 日本史B 新訂版	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (2~4年次)	各節は2~4ページで1つのテーマとなっている。各テーマに疑問文で学習目標が提示されており、学習しやすい。写真・グラフなどが豊富であり、最新の研究成果や多様な視点が採り入れられている。
地理A	130	二宮	地A 309	基本地理A	普通科 午前部 (1~4年次) 夜間部 (1年次)	豊富な写真や取り上げているテーマ・トピックスが新鮮で、地理を基礎から楽しく学べ高校生の学習意欲を喚起させやすく、1年を通して地理を学習するにあたり適切な分量である。
地理B	130	二宮	地B 305	新編 詳解地理B 改訂版	普通科 午前部 (3~4年次) 夜間部 (2~4年次)	写真・図表・コラムなど、資料が充実しており、紙面はワイドで見やすい。系統・地誌とも基本的な知識を体系的に整理しつつ、全分野・全地域を取り上げて地誌を充実させている。環境の多様性や最新の国際情勢を具体的な資料から、生徒にとって視覚的にもわかりやすい。
地図	130	二宮	地図 312	基本地図帳 改訂版	普通科 夜間部 (1年次)	大きな図版でみやすく、図などもわかりやすい。地図帳を身近に感じることができ工夫があり、生徒が学習に取り組みやすい。
地図	130	二宮	地図 314	高等地図帳 改訂版	普通科 午前部 (1年次)	一般図が豊富な地図帳で、広範囲を見渡せる地図から、要所を拡大して見る地図まで、さまざまなスケールでの地図学習ができる。世界の一般図がより見やすく、授業で一般図を多く使う生徒がわかりやすく読み取れる。
現代社会	7	実教	現社 315	最新現代社会 新訂版	普通科 午前部 (3年次) 夜間部 (3年次)	図・写真が多く生徒が理解しやすい。身近な例や時事問題が多く、生徒の学習意欲を喚起する工夫がある。特に現代社会の諸相についてわかりやすく解説されている。
倫理	35	清水	倫理 308	高等学校 新倫理 新訂版	普通科 午前部 (1~4年次)	生徒が東西の先哲の思考や生き方を学ぶことができるように、先哲の思想が育まれた背景、風土や時代についてもていねいに記述している。現代の倫理的課題について、生徒が主体的に思考していく姿勢を培うように工夫している。本文記述と関連の深い写真、主要な思想家のコラム、原典資料、表などを豊富に掲載して理解しやすい。
倫理	35	清水	倫理 313	高等学校 現代倫理 新訂版	普通科 夜間部 (3~4年次)	抽象概念や形式的思考操作についての記述が立体的で理解しやすく、用語解説に終始しない工夫が充実し、生徒を触発へと導く配慮がなされている。

2020年度使用教科用図書 明鏡高等学校選定理由3

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
政治・経済	7	実教	政経 313	最新政治・経済 新訂版	普通科 午前部 (1~4年次) 夜間部 (3~4年次)	図・写真が多く生徒に分かりやすい。 身近な例や時事問題が多く、授業が導入し やすい。特に経済理論がわかりやすく 解説されている。
数学Ⅰ	2	東書	数Ⅰ 319	改訂 新数学Ⅰ	普通科 午前部 (1年次) 夜間部 (1年次)	B5版で説明箇所カラーを多く使 い、ポイントとなる点もわかりやすい。 P.62の平行移動の説明では、色を使うこ とで視覚から取り入れやすいものになっ ている。教科書の最初に小・中学校の 復習を取り入れているので、生徒もス ムーズに高校の授業に取り組めるよう になっている。
数学Ⅱ	2	東書	数Ⅱ 319	改訂 新数学Ⅱ	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (2~4年次)	B5判で文字が大きく、カラフルで見 やすい。各セクションの冒頭にはねらい が書かれており、また、覚えなくてはな らない事項が目立つようにまとめられて いる。具体的な数値を使った説明が多く 取り入れられており、理解しやすい構成 となっている。
数学Ⅲ	7	実教	数Ⅲ 314	高校数学Ⅲ	普通科 午前部 (3~4年次)	復習しながら新しい内容へと移行でき る形になっている。基本問題から発展問 題まで取り組みやすい構成になってい る。
数学A	2	東書	数A 319	改訂 新数学A	普通科 午前部 (1~4年次) 夜間部 (2~4年次)	B5版で説明の際にカラーを多く使 い、ポイントとなる点もわかりやすい。 各章の導入に、日常で扱うものを取り入 れており、整数の分野でも細かな説明が されているので、初めて学ぶ生徒も取 組みやすい。
数学B	2	東書	数B 318	新数学B	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (3~4年次)	B5版で文字も大きく、説明もカラー を多く使っていてわかりやすい。例や例 題を参考に解く演習問題が多く、理解し やすい構成となっている。
数学活用	7	実教	数活 301	数学活用	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (2~4年次)	B5判で文字が大きく、カラフルで見 やすい。また教科書本文の内容ととも に、各節末にある附録が充実しており、 数学や考えることのおもしろさに生徒が 気づくための工夫が施されている。
科学と人 間生活	183	第一	科人 309	高等学校 改訂 科学と人間生活	普通科 午前部 (2年次) 夜間部 (2年次)	わかりやすい図が多く、生徒が興味関 心を持てる内容がうまくまとめである。 現在の科学技術まで発展する過程を示す 資料が多く、理解しやすい。
物理基礎	7	実教	物基 314	高校物理基礎 新訂版	普通科 午前部 (1~4年次) 夜間部 (3~4年次)	B5の見開きに図と文章がきれいにま とめられているため、読みやすい。身近 な現象と関連付けた分かりやすい図が多 く、生徒の理解に役立つ。演習問題の難 易度が生徒の実態に即しており、取り組 みやすい。

2020年度使用教科用図書 明鏡高等学校選定理由4

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
化学基礎	7	実教	化基 317	高校化学基礎 新訂版	普通科 午前部 (1年次) 夜間部 (1年次)	図と文のレイアウトが工夫されているため、読みやすい。また、文章が見開きで完結しているため、単元ごとの理解が容易である。巻末の物質ピックアップなどに身近な物質をわかりやすくまとめてあり、初めて化学を学ぶ生徒にとって見やすくなっている。
化学	2	東書	化学 309	改訂 新編化学	普通科 午前部 (2～4年次) 夜間部 (2～4年次)	中学校の学習事項から丁寧に展開されており、基礎的・基本的事項の確実な理解や習得につながる。くらしや社会と化学をつなげる工夫がなされており、学習意欲を高めるのに役立つ。
生物基礎	7	実教	生基 314	高校生物基礎 新訂版	普通科 午前部 (1～4年次)	導入から発展までの流れがスムーズで無理がなく、生徒の理解に役立つと考えている。発展的な内容については、本文と明確に分けて記載されているため、個々の生徒に合わせた使い方が可能である。
地学基礎	183	第一	地基 310	高等学校 改訂 地学基礎	普通科 夜間部 (3～4年次)	B5版で、見開きに図と文章がきれいにまとめられているため、読みやすい。導入から発展までの流れがスムーズで無理がなく、生徒の理解に役立つと考えている
保健体育	50	大修館	保体 304	現代高等保健体育 改訂版	普通科 午前部 (1年次) 夜間部 (1年次)	ポイントを絞った理解しやすい内容である。また、図表の説明もわかりやすく、それらを用いた授業展開が可能である。
音楽Ⅰ	17	教出	音Ⅰ 307	音楽Ⅰ 改訂版 Tutti	普通科 午前部 (1～4年次) 夜間部 (2～4年次)	歌いやすく良い曲が多いため、生徒が意欲的に学習に取り組める。楽譜が見やすく、色覚特性を踏まえた、読みやすい配色や表示の工夫がされている。
音楽Ⅱ	17	教出	音Ⅱ 307	音楽Ⅱ 改訂版 Tutti	普通科 午前部 (2～4年次) 夜間部 (3年次)	曲の構成がわかりやすい等、生徒が理解しやすい曲が多い。また、楽譜が見やすく、学習の手助けとなる巻末資料が豊富である。
音楽Ⅲ	17	教出	音Ⅲ 304	音楽Ⅲ 改訂版	普通科 午前部 (3～4年次) 夜間部 (4年次)	音楽Ⅰ・Ⅱと同じ出版社の教科書で継続性を考慮した。楽譜が見やすく、生涯学習にもつながる多様な曲が掲載されている。
美術Ⅰ	116	日文	美Ⅰ 305	高校生の美術Ⅰ	普通科 午前部 (1～4年次) 夜間部 (2～4年次)	図版が大きくて、文章も分かりやすく、生徒が関心を持って学習に取り組める内容になっている。また、映像メディア表現や、環境問題を考慮したデザイン等の現代的な題材、日本美術についても積極的に取り上げられている。

2020年度使用教科用図書 明鏡高等学校選定理由5

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
美術Ⅱ	116	日文	美Ⅱ 304	高校生の美術2	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (3年次)	同出版社の美術Ⅰの教科書を使用しているため、継続的な学習が可能であり、図版や作品制作過程が詳細に解説されている。美術の表現制作イメージを膨らませることが可能であり、生徒が主体的創造的に活動できるための内容が網羅されている。
美術Ⅲ	116	日文	美Ⅲ 304	高校生の美術3	普通科 午前部 (3~4年次) 夜間部 (4年次)	同出版社の美術Ⅰ・Ⅱの教科書を使用しているため、継続的な学習が可能であり、図版や作品制作過程が詳細に解説されている。美術の表現制作のイメージを膨らませることが可能であり、生徒が主体的創造的に活動できるための内容が網羅されている。
工芸Ⅰ	116	日文	工Ⅰ 301	工芸Ⅰ	普通科 午前部 (1~4年次)	図版が大きくて、文章も分かりやすく、生徒が関心を持って学習に取り組める内容になっている。また、多種多様な工芸品を取り上げ、工芸制作における技法を細かく紹介しつつ、それらの工芸品が暮らしの中でどのように活用されているかにいたるまで解説してある。
工芸Ⅱ	116	日文	工Ⅱ 301	工芸Ⅱ	普通科 午前部 (2~4年次)	図版が多く、解説が充実しているため、理解しやすい。さらに、演習の内容では制作工程を写真等でわかりやすく解説している。
書道Ⅰ	38	光村	書Ⅰ 308	書Ⅰ	普通科 午前部 (1~4年次) 夜間部 (2~4年次)	古典がA4版見開きカラー・原寸大で掲載され、古典の特徴をわかりやすく解説してある。字形や用筆の基礎・基本を理解しやすい形態である。
書道Ⅱ	38	光村	書Ⅱ 308	書Ⅱ	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (3年次)	鮮明で美しい図版が多数掲載され、個々の古典の解説もわかりやすく生徒が取り組みやすい内容である。また書の変遷についても年表や地図でまとめられており、時代や周辺文化との関わりも理解しやすい。
書道Ⅲ	38	光村	書Ⅲ 305	書Ⅲ	普通科 午前部 (3~4年次) 夜間部 (4年次)	同出版社の書道Ⅰ・Ⅱの教科書を使用しているため、継続的な学習が可能であり、鮮明で美しい図版が多数掲載されている。ことばと書の関係について深く学習するために創作過程が段階的・具体的に示されており、生徒が主体的に取り組める内容である。
コミュニケーション英語Ⅰ	2	東書	コⅠ 328	All Aboard! English Communication I	普通科 夜間部 (3~4年次)	コミュニケーション活動につながる、生徒の興味・関心の高い題材で構成されている。文法が視覚的に提示され、理解しやすい。基礎・基本が系統的に学習できる構成になっており、英語が苦手な生徒にも適している。
コミュニケーション英語Ⅰ	15	三省堂	コⅠ 335	VISTA English Communication I New Edition	普通科 午前部 (1年次) 夜間部 (1年次)	B5版で読みやすく、カラー写真が多く使用されているため、生徒に興味関心を持たせ学習意欲を高めることができる。文法の説明が易しくわかりやすい。ポイントとなる点もわかりやすい。

2020年度使用教科用図書 明鏡高等学校選定理由6

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
コミュニケーション英語Ⅰ	50	大修館	コⅠ 337	Compass English Communication I Revised	普通科 午前部 (1～4年次)	生徒の興味・関心を引く身近で楽しい題材で構成されており、様々な話題を通じて、異文化への理解が高められる。中学の復習から段階的に学習でき、英語が苦手な基礎基本の定着を目指す生徒に適している。
コミュニケーション英語Ⅰ	109	文英堂	コⅠ 346	New Edition Grove English Communication I	普通科 午前部 (3～4年次)	生徒の興味・関心を引く題材で構成されている。文法項目が無理なく段階を追って配列されており、やさしい問題の反復練習で確実に文法事項が身につけやすいため、文法が苦手な生徒に適している。
コミュニケーション英語Ⅰ	177	増進堂	コⅠ 322	NEW STREAM English Communication I	普通科 午前部 (1～4年次) 夜間部 (4年次)	生徒の興味・関心を引く題材を取り扱っている。英語が苦手な生徒でも、英語で情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養うことができるような構成となっている。
コミュニケーション英語Ⅱ	15	三省堂	コⅡ 333	VISTA English Communication II New Edition	普通科 午前部 (2～4年次) 夜間部 (2～4年次)	コミュニケーション活動につながる、生徒の興味・関心の高い題材で構成されている。文法が視覚的に提示され、理解しやすい。基礎・基本が系統的に学習できる構成になっており、本校の生徒に適している。1年次必修のコミュニケーション英語Ⅰでも同シリーズの教科書を使用しているため、継続的な学習が可能である。
英語表現Ⅰ	15	三省堂	英Ⅰ 325	SELECT English Expression I New Edition	普通科 午前部 (1～4年次)	生徒にとって身近な話題を多く扱っている。イラストも効果的に盛り込まれ、英語の文法イメージをつかみながら学習できる。
英語表現Ⅰ	17	教出	英Ⅰ 326	NEW ONE WORLD Expressions I Revised Edition	普通科 夜間部 (4年次)	生徒の興味・関心を引く題材で構成されており、様々な話題を通じて、英語の表現力が高められる。文法項目は、中学の復習から配列されており、基本文法、基本構文の定着を目指す生徒に適している。
英語表現Ⅱ	183	第一	英Ⅱ 330	Vivid English Expression II NEW EDITION	普通科 午前部 (3～4年次)	英語による表現力、コミュニケーション能力の定着と向上のため、英語表現Ⅰでの既習事項も復習的に取り上げている。英語で答える問題では、生徒が英語に触れ、積極的に英語を用いる機会が豊富に設定されている。
英語会話	2	東書	英会 301	Hello there! English Conversation	普通科 午前部 (1～4年次)	生徒にとって、興味深く身近な話題を通して、言語や文化について理解を深めることができる内容になっている。
英語会話	15	三省堂	英会 302	SELECT English Conversation	普通科 夜間部 (3～4年次)	身近な話題を中心に、生徒がよく使う場面での会話表現が選ばれている。基本表現を段階を追って繰り返し学習できる構成になっており、理解しやすい。

2020年度使用教科用図書 明鏡高等学校選定理由7

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
英語会話	226	千アーズ	英会 305	ATLANTIS English Conversation	普通科 夜間部 (2～4年次)	身近な話題について、導入から発展へ段階を追って学習する構成になっており、よく使われる表現が定着しやすい。また、視覚に訴える写真や図が多用されており、生徒の英語に対する興味関心を引き出し、学習意欲を高めることができる。
家庭総合	6	教図	家総 302	家庭総合 ともに生きる 明日をつくる	普通科 午前部 (1～2年次) 夜間部 (1年次)	本文の表現が易しく、わかりやすい図も多いため、内容を理解しやすい。
社会と情報	116	日文	社情 317	新・見てわかる 社会と情報	普通科 午前部 (2年次) 夜間部 (2年次)	最新の内容が盛り込まれ、内容もより充実している。1つの用語を具体例やイラストを交えて1ページでわかりやすく解説しており、生徒にとって親しみやすい。
商業	7	実教	商業 315	商品開発	普通科 午前部 (1～4年次) 夜間部 (3～4年次)	商品開発に必要な過程をわかりやすく説明している。また、実際の企業の事例が豊富でイメージしやすい。
商業	7	実教	商業 326	ビジネス経済応用	普通科 午前部 (4年次) 夜間部 (3～4年次)	各ページに事例やグラフなどの資料が載せてあるため、経済をはじめて学ぶ生徒でもイメージしやすい内容となっている。
商業	7	実教	商業 338	新簿記 新訂版	普通科 午前部 (1～4年次) 夜間部 (2～4年次)	A4版で説明が分かりやすく、また、帳票が大変見やすく、記帳手順が細かく記載されているので、初めて学ぶ生徒にとってわかりやすい。
商業	7	実教	商業 345	ビジネス実務 新訂版	普通科 午前部 (1～4年次) 夜間部 (2～4年次)	授業で取り扱う「オフィス実務」「ビジネスと珠算」の内容が豊富である。また、実際のビジネスの場面をイメージしやすいようにイラストも充実しており、理解しやすい。
商業	7	実教	商業 354	経済活動と法 新訂版	普通科 午前部 (1～4年次) 夜間部 (4年次)	難しい法律を図や具体的事例、わかりやすい解説等で丁寧に説明されており、初めて法律を学ぶ生徒にとって理解しやすい。
商業	7	実教	商業 358	電子商取引 新訂版	普通科 午前部 (2～4年次) 夜間部 (3～4年次)	実習問題で使用されているソフトウェアも本校と同じため使いやすい。また、作業手順も写真等を用いて細かく記載されており、生徒にとってわかりやすい。

2020年度使用教科用図書 明鏡高等学校選定理由8

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
商業	190	東法	商業 344	情報処理 新訂版	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (3~4年次)	基礎・基本を重視した内容ではあるが、高度な内容も取り扱っており、理解力に応じた幅広い対応が可能である。
家庭 (専門)	7	実教	家庭 311	子どもの発達と保育 新訂版	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (4年次)	イラストや図が豊富でわかりやすい。写真も多く、オールカラーで理解を深めやすい。
家庭 (専門)	7	実教	家庭 313	フードデザイン 新訂版	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (2~4年次)	イラスト、写真が大きく載っており生徒の興味を引くレイアウトになっている。特に調理の基本操作はページを多くとっており、理解しやすい。

議案第18号

2020年度使用 新潟市立高志中等教育学校後期課程用 教科用図書の採択について

2020年度使用 新潟市立高志中等教育学校後期課程用 教科用図書の採択について、議決を求める。

令和元年8月30日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

2020年度使用 新潟市立高志中等教育学校後期課程用 教科用図書の選定理由は次のとおり。

2020 年度

新潟市立高志中等教育学校（後期課程）用
教科用図書選定理由

<第1部>

種目	発行者の		教科書の 記号・番	教科書名	需要類型及 び学年	選定理由
	番号	略称				
国語総合	183	第一	国総 360	高等学校 改訂版 国語総合	普通：1年	現代文では、大学受験に対応できる作品を多く採用している。古典では、基礎的事項から積み上げて学習することができる。
現代文B	183	第一	現B 339	高等学校 改訂版 現代文B	普通：2年	評論文では、大学受験に対応できる、難難度の高い作品が多く所収されている。小説では、心情表現豊かな作品や、生命について考えさせる作品が多く、生徒に様々な考えを想定させてくれることが考えられる。以上の点を考え合わせ、本校で使用するのに適した教科書と判断し、選定した。
古典B	183	第一	古B 350	高等学校 改訂版 古典B 古文編	全：2年	受験の知識として必要な文法事項や文学史が学べる作品が多く所収されている。作品のジャンルも、物語から歌論まで幅広く、生徒に様々な知識や思想を広げさせることが期待できる。また和歌を含む作品も数多く、センター試験の対策も、この教科書で十分にできると判断し、選定した。
古典B	183	第一	古B 351	高等学校 改訂版 古典B 漢文編	普通：2年	受験の知識として必要な句法や重要漢字が学べる作品が多く所収されている。また「史記」や「十八史略」など古代中国の歴史に興味を持ち、面白く読み進められる作品もあることから、生徒の知識欲を刺激することが期待できる。以上の点を考え合わせ、本校で使用するのに適した教科書と判断し、選定した。
世界史A	081	山川	世A 316	世界の歴史 改訂版	普通：1年	見やすくわかりやすいように誌面が工夫され、図版なども充実してわかりやすく、近現代史を中心に、前近代史も内容がバランスよく記載され、かつ受験にも対応できる充実した記載内容であり、授業用・自学用としてわかりやすいと同時に世界史Bとも連携して学ぶことができる。
世界史B	081	山川	世B 310	詳説世界史 改訂版	人文：2年	大きな時代の流れを捉えながら、その中で歴史的事項がどのような意味を持つか、論理的に叙述されている。歴史学の最新の研究成果も叙述に取り入れられている。授業において、また生徒が主体的に学習する上で最適のものである。難関大学を中心とする大学受験対策にも対応できる。
日本史B	081	山川	日B 309	詳説日本史 改訂版	人文・ 日本史： 2年	記述内容が詳細であり、授業はもちろん、自学自習することにも適している。また、図版や映像もカラーで豊富に掲載されていて利用しやすい。また、そのデータを利用するソフトもあり、教材の作成も行いやすい。

地理 B	046	帝国	地 B 304	新詳地理 B	人文・ 地理：2年 理工：2年 生物：2年	図版・表・グラフが充実し、わかりやすい内容であると同時に、大学受験にも対応できる記載内容である。地図との対照もよくできるので授業での使用がしやすい。
地図	046	帝国	地図 310	新詳高等地図	人文・ 地理：2年 理工：2年 生物：2年	大学進学に必要な図表・グラフが多く盛り込まれ、地図も見やすく利用しやすい内容になっている。
現代社会	183	第一	現社 321	高等学校 改訂版 現代社会	普通：1年	現代社会と人間としてのあり方生き方に関する記載内容が適切であり、図・資料なども豊富で、わかりやすさへの配慮もなされている。また、学習内容定着のための、ケーススタディ、スキルアップなどの「単元まとめ」も充実しており、生徒が取り組みやすい内容となっている。
倫理	035	清水	倫理 308	高等学校 新倫理 新訂版	人文：2年理 工：3年理 生：3年	思想学習において、歴史的な関連性をもった構成で、思想の背景や時代・風土などと関連させた記述・構成がされており、生徒に理解しやすく、かつ深い思考につながりやすい内容となっている。小論文対策など、さまざまな学習展開も期待できる内容になっている。
政治・経済	183	第一	政経 309	高等学校 改訂版 政治・経済	人文：3年理 工：3年理 生：3年	現代社会の政治・経済の仕組み、国際社会の関係をわかりやすく解説しており、時事的な事項も交えて、生徒に理解しやすく構成している。探究課題を設け、発展的に言語活動の充実が図られるよう工夫されている。
数学 I	104	数研	数 I 327	改訂版 数学 I	普通：1年	中高一貫校として6年間で全国に通ずる学力を身につけさせるという特性から、難易度も適当であり例題と問いのギャップが少なく、授業の進度を維持しながら習熟度に合わせて問題補充しやすい。
数学 II	104	数研	数 II 327	改訂版 数学 II	普通：1年	前年度までに学習した数学 I Aと比べて、難易度も上がるので例題、応用例題と段階別の問題が分かりやすく分けて記載されており、解説も丁寧である本書が適している。
数学 III	104	数研	数 III 322	改訂版 数学 III	理工・ 数 III：3年 生物・ 数 III：3年	記述がわかりやすく、数学への興味・関心が広げられるコラム等が掲載されている。段階別の問題が分かりやすく分けて記載されており、解説も丁寧である。
数学 A	104	数研	数 A 327	改訂版 数学 A	普通：1年	確率や平面図形は苦手とする生徒にとって、例題や問の問題が分かりやすいものになっており、その説明も図解されているので適している。また、習熟度に合わせて、章末問題等で、補充が可能になっている。

数学B	104	数研	数B 325	改訂版 数学B	普通：2年	数列やベクトルの分野では、図や考え方のイメージを視覚化することによって、わかりやすい解説となっている。例、例題、応用例題と段階別の問題が分かりやすく分けて記載されており、解説も丁寧である。
物理基礎	104	数研	物基 319	改訂版 新編 物理基礎	普通：1年	教科書に記載された内容が適切であり、わかりやすいように図や表なども丁寧に描かれている。また、学習内容定着のための演習問題も十分である。次年度に向けて基礎・基本を固めるのに適した教科書である。
物理	104	数研	物理 313	改訂版 物理	理工：2年	物理基礎の学習を受け連続した学習を進めていくのに適していると判断した。記載内容が適切であり、丁寧な図説があるなど、わかりやすさへの配慮もなされている。また、学習内容定着のための演習問題も十分である。
化学基礎	104	数研	化基 319	改訂版 化学基礎	普通：1年	教科書に記載された内容が適切であり、学習内容定着のための演習問題も十分である。また本文の内容を深める参考や話題、図表も多く記載されており基礎から発展まで幅広く学習を進めることができる。
化学	104	数研	化学 313	改訂版 化学	理工：2年 生物：2年	化学基礎の学習を受け連続した学習を進めていくのに適していると判断した。また、学んだ知識を総括的に演習するための問題も充実しており、受験にも対応できる。
生物基礎	002	東書	生基 311	改訂生物基礎	普通：1年	中学校との接続を意識した構成で、文章が読みやすく、図の質も高い。また、発展的内容も適切に扱われており、中高一貫校として、質と量の調和のとれた学習指導を行うのに適している。
生物	104	数研	生物 310	改訂版 生物	生物：2年	説明が端的で、図も理解しやすい。また、「コラム」や「参考」等で発展的内容も十分に配置されており、生物科学コースの生徒が興味・関心をさらに深めるのに適している。
保健体育	050	大修館	保体 304	現代高等 保健体育 改訂版	普通：1年	統計的資料や図などが豊富に取り入れられており、解説も詳しく付けられている。また、本文で取り扱っている内容は他の教科書と比べて難しく、細かい内容を取り扱い、学習内容が多い。保健に対して興味・関心をもち、自ら調べたり深く内容を追求したりして学習を進めるのに適している。

2020年度使用教科用図書 高志中等教育学校選定理由4

音楽 I	027	教芸	音 I 310	MOUSA 1	普通：1年	新しい曲が豊富に取り入れられており生徒の興味を引く幅広いジャンルの曲が多く盛り込まれている。楽曲内容も細かい解説が記載されており、自ら演奏方法を調べたりしながら学習を進めることができる。
美術 I	116	日文	美 I 305	高校生の美術 1	普通：1年	豊富な題材構成、実物の大きさを意識した作品資料、充実の技法資料がある。生徒の興味を喚起し、作品制作中のつまづきを自力で解決することができる。自ら課題を見つけ主体的に解決していく学習を進めるのに適している。
書道 I	006	教図	書 I 306	書 I	普通：1年	授業で自ら課題を見つけ、主体的に解決していく学習を進めるための手本として使いやすい。この教科書は文字のサイズが拡大されていることや教科書のサイズが机に置きやすいように工夫されていることから、手本を有効活用して練習するのに適している。
コミュニケーション英語 I	212	桐原	コ I 355	PRO-VISION English Communication I New Edition	普通：1年	生徒が関心を持てるような題材が多く採り上げられており、4技能をバランスよく身につけるための構成が成されている。
コミュニケーション英語 II	15	三省堂	コ II 331	CROWN English Communication II New Edition	普通：2年	生徒が関心を持てるような題材が多く採り上げられており、4技能5領域をバランスよく身につけるための構成が成されている。
コミュニケーション英語 III	212	桐原	コ III 347	PRO-VISION English Communication III New Edition	普通：3年	生徒が関心を持てるような題材が多く採り上げられており、4技能5領域をバランスよく身につける総合的統一的な言語活動が廃されている。また、難易度も適当である。
英語表現 I	231	いいずな	英 I 341	be English Expression I Advanced	普通：1年	「文法」の基礎から発展までを体系的に学習しながら「書く」表現力と「話す」表現力を身につけるための様々な活動が盛り込まれている。
英語表現 II	212	桐原	英 II 334	EMPOWER English Expression II Essential Course	普通：2年	「様々なジャンルの英文を書く」「パラグラフ・エッセイ・サマリーを書く」「英語でプレゼンテーションやディベートなどをする」の3つの章で構成されており、自分の意見を相手にわかりやすく、英語で書いたり話したりする表現力を身につけるための様々な活動が盛り込まれている。
家庭基礎	006	教図	家基 313	高等学校家庭基礎グローバル&サステイナビリティ	普通：2年	新しい資料が豊富に取り入れられ、見やすく、登場人物と同じ視点で課題の発見と解決に向けた主体的、協働的な学習が行いやすい。「グローバル」「サステイナビリティ」というコラムが各所に掲載されており、広い視野をもち、多様な価値観の中から自分の価値を見つけられるよう工夫されている。
社会と情報	007	実教	社情 311	最新社会と情報新訂版	普通：1年	例題や事例が豊富であり、論理的な思考や客観的な視点を身につけるための教材の工夫がある。情報倫理や統計処理などを扱っており、他教科との連携を図りやすい。

報 告

令和元年度 新潟市奨学生等の選考結果について

学 務 課

1 奨学生（候補者）の選考

新潟市奨学金条例施行規則第4条及び新潟市社会人奨学金条例施行規則第4条に基づき、下記により奨学生（候補者）の選考を行うため選考委員会を開催した。

(1) 開催日 令和元年8月6日（火）

(2) 選考内容 新潟市奨学生及び新潟市社会人奨学生選考基準に基づき基準適合の可否等選考方針について説明し、選考委員より意見を聴取した。

2 選考結果

(1) 新潟市奨学金

	高等学校	専門学校	短期大学	大学	大学院	合計
募集人数	2	11	7	75	3	98
申請数	0	12	4	64	3	83
基準適合外	0	1	0	8	0	9
候補者数	0	11	4	56	3	74

《貸付額》 高等学校 : 年額20万円

専門学校・短期大学・大学・大学院 : 年額40万円

(2) 社会人奨学金

	専門学校	短期大学	大学	大学院	合計
募集人数	5				5
申請数	1	0	0	0	1
基準適合外	0	0	0	0	0
候補者数	1	0	0	0	1

《貸付額》 年額20万円、30万円、40万円から申請時に選択

(今年度は、申請者1名が40万円を選択)

参考

年度別採用状況

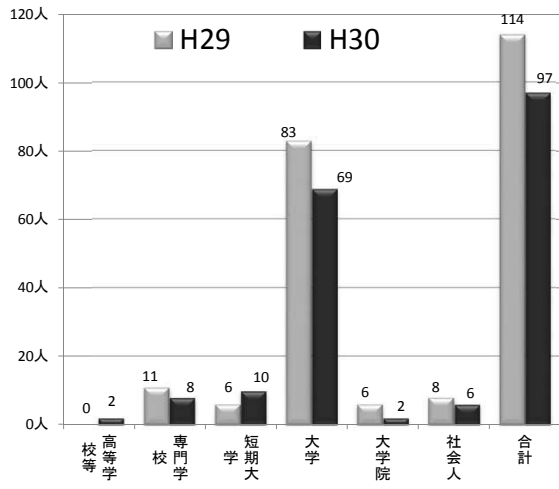
(人)

年度	高校		専門学校		短大		大学		大学院		合計		社会人	
	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数
H29	5	0	17	12	5	9	80	106	10	3	117	130	9	1
H30	2	2	10	13	5	8	80	76	4	2	101	100	6	1
R1	2	0	11	11	7	4	75	64	3	3	98	74	5	1

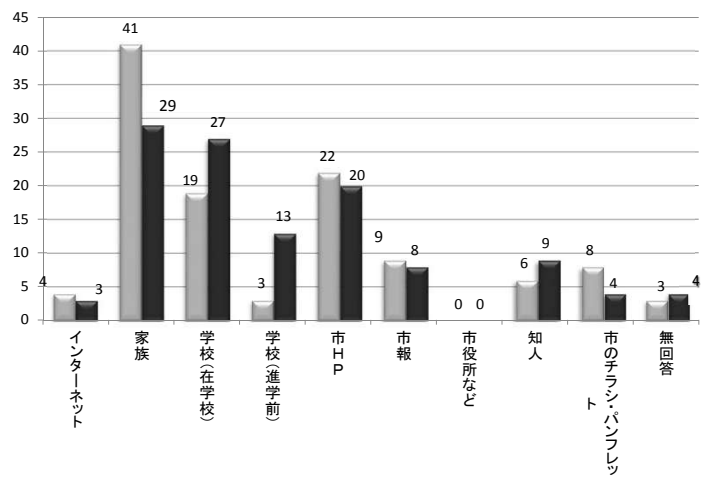
平成30年度貸付終了者からのアンケート結果

H29年度貸付終了者(118人中114人から回答)
H30年度貸付終了者(100人中97人から回答)

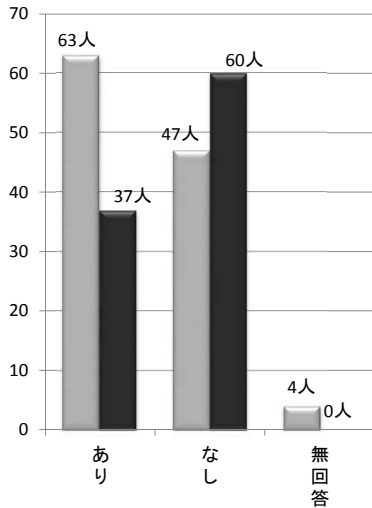
1. アンケート回答者の貸付種別



2. この制度を何(どこ)で知ったか(複数回答有)



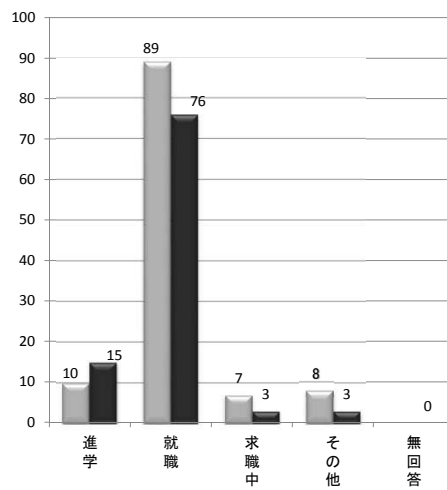
3. 他の奨学金制度の利用



【H30 併用している主な奨学金】 (複数回答有)

- ・日本学生支援機構奨学金(29人)
- ・新潟県奨学金(3人)
- ・民間法人の奨学金(4人)
- ・在学校の奨学金(1人)

4. 貸付終了後の進路



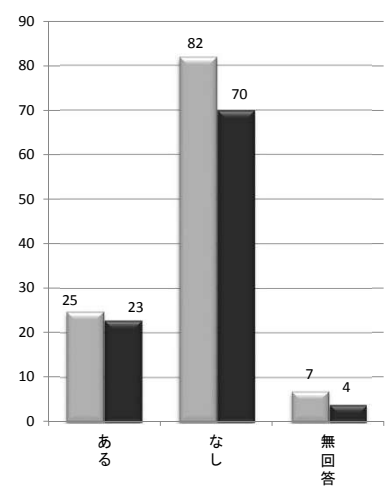
【H30就職先の主な業種】

- ・医療(25人) ・公務員(7人) ・金融・保険(7人)
- ・卸売・小売(6人) ・製造(6人)
- ・情報通信(6人) ・保育・福祉(6人)

【H30就職先の主な所在地】

- ・新潟市内(40人) ・新潟県内(9人)
- ・県外(26人)

5. 返済にあたっての心配

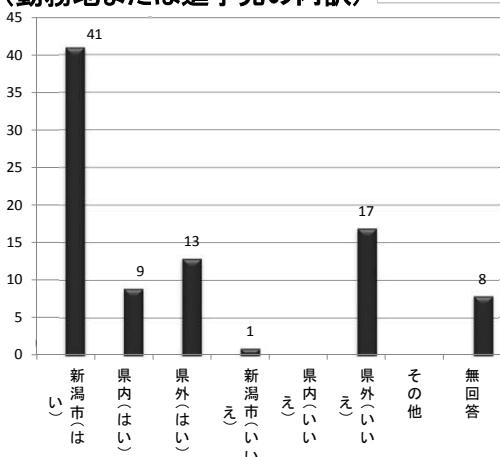


【H30「ある」とした主な理由】

- ・計画的に返済できるか心配(7人)
- ・返済能力の維持(5人)
- ・病気などで働けなくなる(4人)

6. 返還特別免除の利用希望 (勤務地または進学先の内訳)

H30年度貸付者より
アンケート実施



その他の主な意見 (自由記載)

- ・返還特別免除の免除期間の「貸付終了後7年を超えない範囲で」の部分「返還が終わる年数の範囲で」などにしてもらい、7年しぼりがなくなって、10年など年数が増えると非常に助かります。
- ・無利子で借りることができる奨学金制度は多くなく、大変助かりました。
- ・おかげさまで卒業することが出来ました。資格を一生大切にします。
- ・返還特別免除があつてとてもよかったです。
- ・新潟市に住所がある場合、特別免除の金額を増やしてほしいです。
- ・市内に若者を定住させるために大変よい制度であると思います。
- ・とてもよい制度だと思うのでより多くの人に知ってもらい、後輩にもぜひ利用してもらいたい。

令和元年度 全国学力・学習状況調査 新潟市の結果

学校支援課

※数値は平均正答率

学年	教科	新潟市	全国(公立)	全国との差
小学校 6年生	国語	68.8%	63.8%	+5.0p
	算数	67.2%	66.6%	+0.6p
中学校 3年生	国語	74.4%	72.8%	+1.6p
	数学	61.4%	59.8%	+1.7p
	英語	56.2%	56.0%	+0.3p

※全国との差は小数点以下第2位を四捨五入した数値

※昨年度に引き続き、全数調査で実施されました。

今年度から、知識と活用を一体的に問う調査問題になりました。英語が初めて実施されました。

※新潟市の平均正答率は、小学校、中学校とも、全ての教科で、全国の平均正答率（以下、全国平均）を上回りました。全国平均との差は、昨年度とほぼ同様で安定しています。小学校国語は、他の項目に比べて、特に高い数値になりました。

・以下の集計値は、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

質問番号	質問事項	新潟市	H30	全国	
(1)	朝食を毎日食べていますか	97.2	96.4	95.3	
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	86.9	82.3	81.4	◎
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.6	91.6	91.6	
(4)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	79.7	81.1	77.4	
(5)	自分には、よいところがあると思いますか	85.1	86.9	81.2	◎
(6)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	91.8	90.1	86.1	◎
(7)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	94.4		91.7	
(8)	将来の夢や目標を持っていますか	83.6	85.5	83.8	▲
(9)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	96.9		95.2	
(10)	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	84.1		79.0	◎
(11)	学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか	89.4		84.1	◎
(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか	88.3		85.8	
(13)	学校のきまりを守っていますか	93.2	91.3	92.3	
(14)	人が困っているときは、進んで助けていますか	90.2		87.9	
(15)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.5	98.1	97.1	
(16)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.8	96.8	95.2	
(17)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	82.6	78.5	71.5	◎
(18)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)(1時間以上)	76.1	75.4	66.1	◎
(19)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(30分以上)	38.1	39.5	39.8	▲
(20)	休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか(月に1~3回程度以上)	44.1		40.5	◎
(21)	読書は好きですか	77.8		75.0	
(22)	新聞を読んでいますか(月に1~3回程度以上)	43.2	43.7	38.5	◎
(23)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	81.0	73.2	68.0	◎
(24)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	61.4	52.5	54.5	◎
(25)	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	71.0		68.6	
(26)	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	79.1		76.1	◎

(27)	5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか(週1回以上)	22.9		30.6	▲
(28)	授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか	89.7		86.5	◎
(29)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	82.1	81.2	74.1	◎
(30)	授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか	88.2		82.8	◎
(31)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか	74.8		65.7	◎
(32)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか	85.9		74.0	◎
(33)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか	83.5		73.4	◎
(34)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか	89.0		80.9	◎
(35)	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	83.8	82.1	77.7	◎
(36)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	66.4	64.8	62.5	◎

◎全国を3ポイント以上上回っている ▲全国を下回っている

質問番号	質問事項	新潟市	H30	全国	
(1)	朝食を毎日食べていますか	95.2	95.5	93.1	
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	82.0	80.3	78.0	◎
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	94.5	93.4	92.8	
(4)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	78.5	76.3	76.4	
(5)	自分には、よいところがあると思いますか	77.9	80.8	74.1	◎
(6)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	84.8	85.6	81.5	◎
(7)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	87.4		84.6	
(8)	将来の夢や目標を持っていますか	71.4	72.3	70.5	
(9)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	94.9		93.9	
(10)	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	75.6		70.3	◎
(11)	学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか	86.8		82.8	◎
(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか	84.5		81.9	
(13)	学校の規則を守っていますか	97.1	96.6	96.2	
(14)	人が困っているときは、進んで助けていますか	90.1		85.9	◎
(15)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.9	97.1	95.1	
(16)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.6	96.4	94.3	
(17)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	53.9	57.3	50.4	◎
(18)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む)(1時間以上)	67.2	69.5	69.8	▲
(19)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(30分以上)	30.9	33.9	27.0	◎
(20)	休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか(月に1~3回程度以上)	24.3		20.4	◎
(21)	読書は好きですか	74.7		68.0	◎
(22)	新聞を読んでいますか(月に1~3回程度以上)	33.5	34.6	28.5	◎
(23)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	55.1	49.0	50.6	◎
(24)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	46.7	44.0	39.4	◎
(25)	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	62.9		62.4	
(26)	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	60.7		59.3	
(27)	学校の部活動に参加していますか	88.8		86.6	
(28)	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、部活動を行いますか(2時間以上)	61.2		53.0	◎
(29)	学校の部活動に参加する主な理由は、以下のうちどれですか(体力・技術を向上させたいから)	48.2		44.0	◎
(30)	1、2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか(週1回以上)	22.3		30.6	▲
(31)	授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか	79.1		78.3	
(32)	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	80.7	85.1	72.8	◎
(33)	授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか	80.4		74.9	◎
(34)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか	78.3		61.5	
(35)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか	81.0		71.6	◎
(36)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか	75.9		65.6	◎
(37)	1、2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	86.0		76.6	◎
(37)	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	82.8	81.2	74.8	◎
(38)	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	64.6	62.8	55.8	◎

・以下の集計値は、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

質問番号	質問事項	新潟市	H30	全国	
(37)	国語の勉強は好きですか	71.6		64.2	◎
(38)	国語の勉強は大切だと思いますか	95.3		93.0	
(39)	国語の授業の内容はよく分かりますか	92.7		84.9	◎
(40)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.6		91.2	
(41)	国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか	82.9		76.9	◎
(42)	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか	84.7		78.1	◎
(43)	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか	75.2		68.5	◎
(44)	国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたら、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか	80.3		71.4	◎
(45)	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。が、どのように解答しましたか(全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した)	86.5		80.4	◎
(46)	算数の勉強は好きですか	69.5	65.1	68.6	
(47)	算数の勉強は大切だと思いますか	95.2	93.7	93.7	
(48)	算数の授業の内容はよく分かりますか	87.6	86.3	83.5	◎
(49)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.9	91.5	92.5	
(50)	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	80.1	66.5	76.5	◎
(51)	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	83.4	78.3	79.1	◎
(52)	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	86.8	82.2	82.0	◎
(53)	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	86.8	81.7	82.1	◎
(54)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	88.9	85.0	84.0	◎
(55)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	90.8	89.3	87.0	◎
(56)	今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。が、どのように解答しましたか(全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した)	84.1	74.9	80.7	◎
(57)	解答時間は十分でしたか(国語)	85.0		74.2	◎
(58)	解答時間は十分でしたか(算数)	87.3		84.0	◎

◎全国を3ポイント以上上回っている ▲全国を下回っている

質問番号	質問事項	新潟市	H30	全国	
(40)	国語の勉強は好きですか	65.8		61.7	◎
(41)	国語の勉強は大切だと思いますか	91.6		91.0	
(42)	国語の授業の内容はよく分かりますか	83.9		77.6	◎
(43)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	89.0		88.0	
(44)	国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか	78.7		71.6	◎
(45)	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか	82.6		77.4	◎
(46)	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか	72.5		64.4	◎
(47)	国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたら、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか	79.0		68.4	◎
(48)	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。が、どのように解答しましたか(全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した)	82.4		79.8	
(49)	数学の勉強は好きですか	61.3	57.7	57.9	◎
(50)	数学の勉強は大切だと思いますか	85.8	87.0	84.2	
(51)	数学の授業の内容はよく分かりますか	80.6	78.0	73.9	◎
(52)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	78.7	77.2	76.2	
(53)	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。が、どのように解答しましたか(全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した)	64.2	57.8	60.8	◎
(54)	英語の勉強は好きですか	59.0		56.0	◎
(55)	英語の勉強は大切だと思いますか	85.6		85.4	
(56)	英語の授業の内容はよく分かりますか	71.6		66.0	◎
(57)	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	85.9		85.4	
(58)	あなたはこれまで、学校の授業やその他の学習以外で、日常的に英語を使う機会(地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど)が十分にありましたか	32.2		33.8	▲
(59)	あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	40.3		41.3	▲
(60)	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	86.4		79.2	◎
(61)	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	88.3		81.2	◎
(62)	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	71.0		62.9	◎
(63)	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	78.2		77.2	
(64)	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	83.0		80.1	
(65)	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか	82.0		77.4	◎
(66)	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか	80.8		74.6	◎
(67)	解答時間は十分でしたか(国語)	93.2		90.3	
(68)	解答時間は十分でしたか(数学)	88.8		84.7	◎
(69)	解答時間は十分でしたか(英語)	69.0		63.0	◎

新潟市教育委員会組織規則の一部改正について

令和元年8月30日

地域教育推進課

地域教育推進課が所管していた「青少年三川自然の森」跡地について、8月5日（月）付けで売却するにあたり、同日付で財産活用課に所管換えを行うとともに、次のとおり「新潟市教育委員会組織規則」を改正いたしました。

新潟市教育委員会組織規則の一部改正について

1 改正理由

旧青少年三川自然の森の売却にあたり当該財産を新潟市長に引き継ぐため、旧青少年三川自然の森に関する規定を削除するもの。

2 改正内容

第4条地域教育推進課の項第5号中「旧青少年三川自然の森,」を削る。

3 施行期日

令和元年8月5日

新潟市教育委員会組織規則(平成19年教育委員会規則第6号)新旧対照表

改正後(案)	現行	備考
<p>○新潟市教育委員会組織規則 (課の分掌事務)</p> <p>第4条 前条に規定する課の分掌事務は、おおむね次のとおりとする。</p> <p>地域教育推進課</p> <p>(1) 青少年教育の推進に関する事。</p> <p>(2) 青少年の健全育成及び非行防止に関する事。</p> <p>(3) 社会環境浄化の調査及び啓発に関する事。</p> <p>(4) 成人団体及び青少年育成団体への支援並びに関係機関との連絡調整に関する事。</p> <p>(5) 旧大畑少年センター、入徳館野外研修場、芸術創造村・国際青少年センターに関する事。</p> <p>(6) 地域と共に歩む学校づくりの推進に関する事。</p> <p>(7) 学校施設の地域開放に係る企画、調整及び実施に関する事。</p> <p>(8) 学校開放に係る使用料の徴収に関する事。</p>	<p>○新潟市教育委員会組織規則 (課の分掌事務)</p> <p>第4条 前条に規定する課の分掌事務は、おおむね次のとおりとする。</p> <p>地域教育推進課</p> <p>(1) 青少年教育の推進に関する事。</p> <p>(2) 青少年の健全育成及び非行防止に関する事。</p> <p>(3) 社会環境浄化の調査及び啓発に関する事。</p> <p>(4) 成人団体及び青少年育成団体への支援並びに関係機関との連絡調整に関する事。</p> <p>(5) <u>旧青少年三川自然の森</u>、旧大畑少年センター、入徳館野外研修場、芸術創造村・国際青少年センターに関する事。</p> <p>(6) 地域と共に歩む学校づくりの推進に関する事。</p> <p>(7) 学校施設の地域開放に係る企画、調整及び実施に関する事。</p> <p>(8) 学校開放に係る使用料の徴収に関する事。</p>	<p>削除</p>

旧青少年三川自然の森キャンプ場の跡地売却について

令和元年8月30日

地域教育推進課

地域教育推進課が所管する「旧青少年三川自然の森キャンプ場」跡地を売却するにあたり、7月30日（火）に一般競争入札を実施し、以下のとおり落札されました。

同跡地は8月5日付で財務部財産活用課に移管し、同日、以下落札者との間に売買契約を締結しましたので報告いたします。

1. 入札の概要

財産名	青少年三川自然の森
財産の所在地	東蒲原郡阿賀町谷沢字新山 5277 番 19 ほか
財産の内容	【土地】 300, 153 m ² （山林ほか） 【建物】 652. 97 m ² （管理棟ほか）
予定価格（土地・建物）	16, 847, 680 円（消費税込）

2. 落札者

有限会社 岩村ポーターリー（養鶏、ワクチン製造業）
新発田市住吉町2丁目6番23号

3. 落札価格

17, 001, 000円

協 議 会

通学区域変更に関する要望書について（中児第三自治会）

教育総務課教育政策室

1 要望書提出年月日

令和元年 5 月 17 日

2 要望書提出者

中児第三自治会 （東区）

3 要望の趣旨

- ・ 中児第三自治会は 2 つの小学校区に分断されており、円滑な自治会活動に不都合が生じているため、「東中島 2 丁目 1 番から 6 番」を中野山小学校区／石山中学校区から、東中野山小学校区／東石山中学校区へ変更することで、自治会内の通学区域を一本化すること。
- ・ 通学区域の変更実施期日は、令和 2 年 4 月 1 日とすること。
- ・ 現在上記の地域から中野山小学校及び石山中学校へ就学している児童・生徒については、通学区域変更後も卒業するまで在籍できること。また中野山小学校を卒業した子どもが、希望すれば指定校の東石山中学校ではなく、石山中学校に就学できること。
- ・ 兄弟が同時期に別々の学校に通わなくてもいいよう、兄や姉が中野山小学校または石山中学校へ就学している間は、その弟や妹についても、中野山小学校又は石山中学校へ就学を認め、同学校を卒業するまで在籍できること。またこの特例により、中野山小学校を卒業した子どもが、希望すれば指定校の東石山中学校ではなく、石山中学校に就学できること。

4 児童・生徒数、学級数将来推計

別紙に記載のとおり

5 関係するコミュニティ協議会

中野山小学校区コミュニティ協議会

東中野山小学校区コミュニティ協議会

以上、通学区域変更に同意済

6 対応案

要望事項は妥当と考えられる。本日の協議にて了解が得られたのち、次回定例会にて通学区域変更を付議する。

■変更元の校区

令和元年度 中野山小学校／石山中学校 児童生徒・学級数推計

校名	学年	実数値		推計値											
		令和元年度 児童数	学級数	2		3		4		5		6		7	
中野山	1	59	2	58	2	63	2	74	3	89	3	65	3	83	3
	2	77	3	59	2	58	2	63	2	74	3	89	3	65	3
	3	71	3	77	3	59	2	58	2	63	2	74	3	89	3
	4	69	2	71	3	77	3	59	2	58	2	63	2	74	3
	5	79	3	69	2	71	2	77	3	59	2	58	2	63	2
	6	71	2	79	3	69	2	71	2	77	3	59	2	58	2
計		426	15	413	15	397	13	402	14	420	15	408	15	432	16
校名	学年	令和元年度		2		3		4		5		6		7	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
石山	1	136	4	126	4	136	4	145	5	127	4	136	4	125	4
	2	120	4	136	4	126	4	136	4	145	5	127	4	136	4
	3	111	4	120	4	136	4	126	4	136	4	145	5	127	4
計		367	12	382	12	398	12	407	13	408	13	408	13	388	12

■変更対象人数

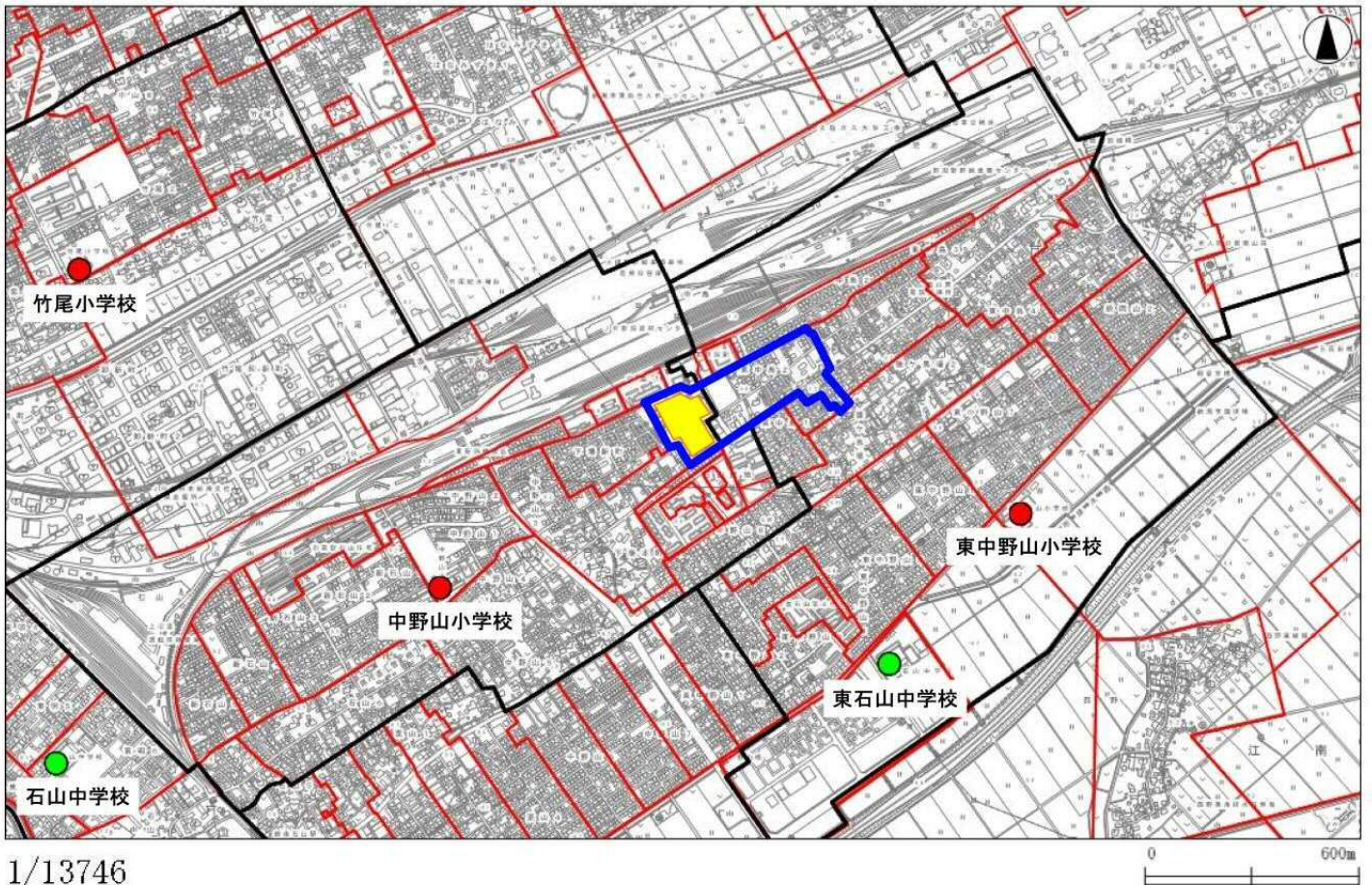
令和元年度「東中島2丁目1番から6番」 生徒数、児童数、乳幼児数

中学3年	中学2年	中学1年	生徒数計	6年	5年	4年	3年	2年	1年	児童数計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	乳幼児数計
1	2	0	3	3	1	0	1	1	1	7	2	0	2	1	0	3	8

■変更先の校区

令和元年度 東中野山小学校／東石山中学校 児童生徒・学級数推計

校名	学年	実数値		推計値											
		令和元年度 児童数	学級数	2		3		4		5		6		7	
東中野山	1	91	3	115	4	96	3	96	3	93	3	90	3	64	2
	2	94	3	91	3	115	4	96	3	96	3	93	3	90	3
	3	106	4	94	3	91	3	115	4	96	3	96	3	93	3
	4	77	3	106	4	94	3	91	3	115	4	96	3	96	3
	5	90	3	77	3	106	4	94	3	91	3	115	4	96	3
	6	87	3	90	3	77	3	106	4	94	3	91	3	115	4
計		545	19	573	20	579	20	598	20	585	19	581	19	554	18
校名	学年	令和元年度		2		3		4		5		6		7	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
東石山	1	148	5	140	4	172	5	134	4	168	5	160	5	154	5
	2	167	5	148	5	140	4	172	5	134	4	168	5	160	5
	3	151	5	167	5	148	5	140	4	172	5	134	4	168	5
計		466	15	455	14	460	14	446	13	474	14	462	14	482	15



- 凡例
- 小学校区線
 - 自治会境界線
 - 中児第三自治会
 - 校区変更対象地域

令和元年 5月17日
(平成31年2月28日)

新潟市教育委員会

教育長 前田秀子様

新潟市中児第三自治会
会長 白川義則



通学区域変更のお願い

私達、新潟市中児第三自治会に於いては、従来から通学区が中野山小学校区、石山中学校区と東中野山小学校区、東石山中学校区に指定されている区域の2学校区が混在しており、自治会が二つの学校区に分断されておる状況にあります。

現在、中児第三自治会は東中野山小学校コミュニティ協議会に所属しています。この様な状況では、円滑な自治会活動を行って行く上で、何かと不都合な状態が生じており、児童・生徒及びその保護者の日常の活動等に多大な影響を与えております。尚学校区が中野山小学校区、石山中学校区に指定されている区域に居住する住民は、地域コミュニティの一体化並びに児童・生徒の学校内外活動の継続性、児童及び高齢者見守り自主防災等などの活動にも影響与えております。安全で安心して暮らせる地域作りの観点から、東中野山小学校区、東石山中学校区への校区の変更を希望しております。

つきましては、中児第三自治会の総意として、是非とも次のとおり通学区域を変更して下さる様図面を添えてお願い申し上げます。

1. 別紙図面に示す東中島2丁目1番から6番迄区域の学校区を、東中野山小学校区及び東石山中学校区に変更して頂きたい。
2. 学校区域変更期日は、西暦2020年4月1日として頂きたい。
3. 通学区域の変更の際は、次の事項に配慮して下さる様お願い致します。
 - 1、現在中野山小学校及び石山中学校に在籍している児童・生徒は、当該学校を卒業するまで在籍できる事。
又この特例により中野山小学校を卒業したお子さんは、希望すれば指定校である東石山中学校学校ではなく、石山中学校に就学することができ、石山中学校を卒業するまで在籍できる事。
 - 2、兄弟が同時期に別々の学校に通わなくてもいいよう、上記の特例により中野山小学校又は、石山中学校に就学しているお子さんがいる間は、その弟妹も中野山小学校又は石山中学校への就学を認め、当該学校を卒業するまで就学できる事。
また、この特例により中野山小学校を卒業したお子さんは、希望すれば指定校である東石山中学校ではなく、石山中学校に就学することができ、石山中学校を卒業するまで就学出来る事。

以上

中児第三自治会総会議事録

平成31年2月24日午前10時30分東中島公民館に於いて通常総会を開催した。

通常総会に出席した総数報告がなされ、総数276世帯中出席38名委任状提出後175名
よって総会の成立がなされたことの報告が司会の入沢副会長よりあり、議長選出に入り
入沢副議長が議長席に就き、議事に入る。

第1号議案

平成30年度活動報告及び決算報告、及び会計監査報告の件を議長が議場に諮った
ところ、満場一致をもってこれを承認可決した。

第2号議案

平成31年度活動計画(案)の件を議長が議場に諮ったところ、満場一致をもってこれを
承認可決した。

第3号議案

校区変更の件、主旨説明を白川会長より行い議長は議場に諮ったところ、満場一致をも
ってこれを承認可決した。

第4号議案

その他の件を議長は議場にたいして、要望や意見等有るや、否か諮ったところ
これとしても意見もなく終了とした。

以上で本日の議事を終了し、議長は午前12時15分に閉会をした。

上記の決議を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び会長並び書記が記名押印
する。

平成31年2月28日

議長 副会長

入沢孝司



会長

白川義則



書記

柴山学



総会のご案内

会員各位

平成 31 年 2 月 10 日

中児第三自治会

会長 白川義則



春寒堪えがたき折柄、皆様方にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、下記の通り平成 31 年度の総会を開催致しますのでご多忙中とところ多数のご出席をお願いいたします。尚 総会終了後懇親会を予定しておりますので参加希望の方は組長(班長)までお申し込み下さい。

記

日 時 平成 31 年 2 月 24 日 (日曜日) 午前 10 時 30 分

場 所 東中島公民館

- 議 題
1. 平成 30 年度活動報告
 2. 平成 30 年度決算報告
 3. 平成 30 年度監査報告
 4. 平成 31 年度予算(案)承認の件
 5. 平成 31 年度活動計画(案)の件
 6. 学校区変更の件
 7. その他

同 意 書

新潟市東区中兎第三自治会内における小学校区、及び中学区について
現行の校区中野山小学校区、及び石山中学校区と東中野山小学校、及び
東石山中学校区の二学校区を西暦 2020 年 4 月 1 日より東中野山小学校区
及び東石山中学校区に統一する事に同意します。

平成 31 年 2 月 28 日

新潟市東区新石山 5-9-19

中野山小学校コミュニティー協議会

会 長 小 松 茂




同意書

新潟市東区中兎第三自治会内における小学校区、及び中学区について
現行の校区中野山小学校区、及び石山中学校区と東中野山小学校、及び
東石山中学校区の二学校区を西暦 2020 年 4 月 1 日より東中野山小学校区
及び東石山中学校区に統一する事に同意します。

平成 31 年 2 月 28 日

新潟市東区東中島 2-7-12

東中野山小学校コミュニティー協議会

会長 野村 綏 毅 知 

通学区域変更に関する要望書について（緑ヶ丘自治会）

教育総務課教育政策室

1 要望書提出年月日

令和元年 6 月 28 日

2 要望書提出者

緑ヶ丘自治会 （西区）

3 要望の趣旨

- ・ 緑ヶ丘自治会は 2 つの小学校区に分断されており、円滑な自治会活動に不都合が生じているため、「寺尾東 3 丁目 15 番, 16 番, 同 18 番から 20 番」を坂井東小学校区から新通小学校区へ変更することで、自治会内の通学区域を一本化すること。
- ・ 通学区域の変更実施期日は、令和 2 年 4 月 1 日とすること。同日に新通小学校から、新通つばさ小学校が分離新設され、新通小学校の適正規模化が図られるのに合わせての変更とする。
- ・ 現在上記の地域から坂井東小学校へ就学している児童については、通学区域変更後も卒業するまで在籍できること。
- ・ 兄弟が同時期に別々の学校に通わなくてもいいよう、兄や姉が坂井東小学校へ就学している場合、その弟や妹についても坂井東小学校へ就学でき、同学校に卒業するまで在籍できること。

4 児童、学級数将来推計

別紙に記載のとおり

5 近隣の同一自治会内で複数校区となっている自治会

寺尾新町第二自治会

坂井自治会

以上、通学区域変更について了解済

6 対応案

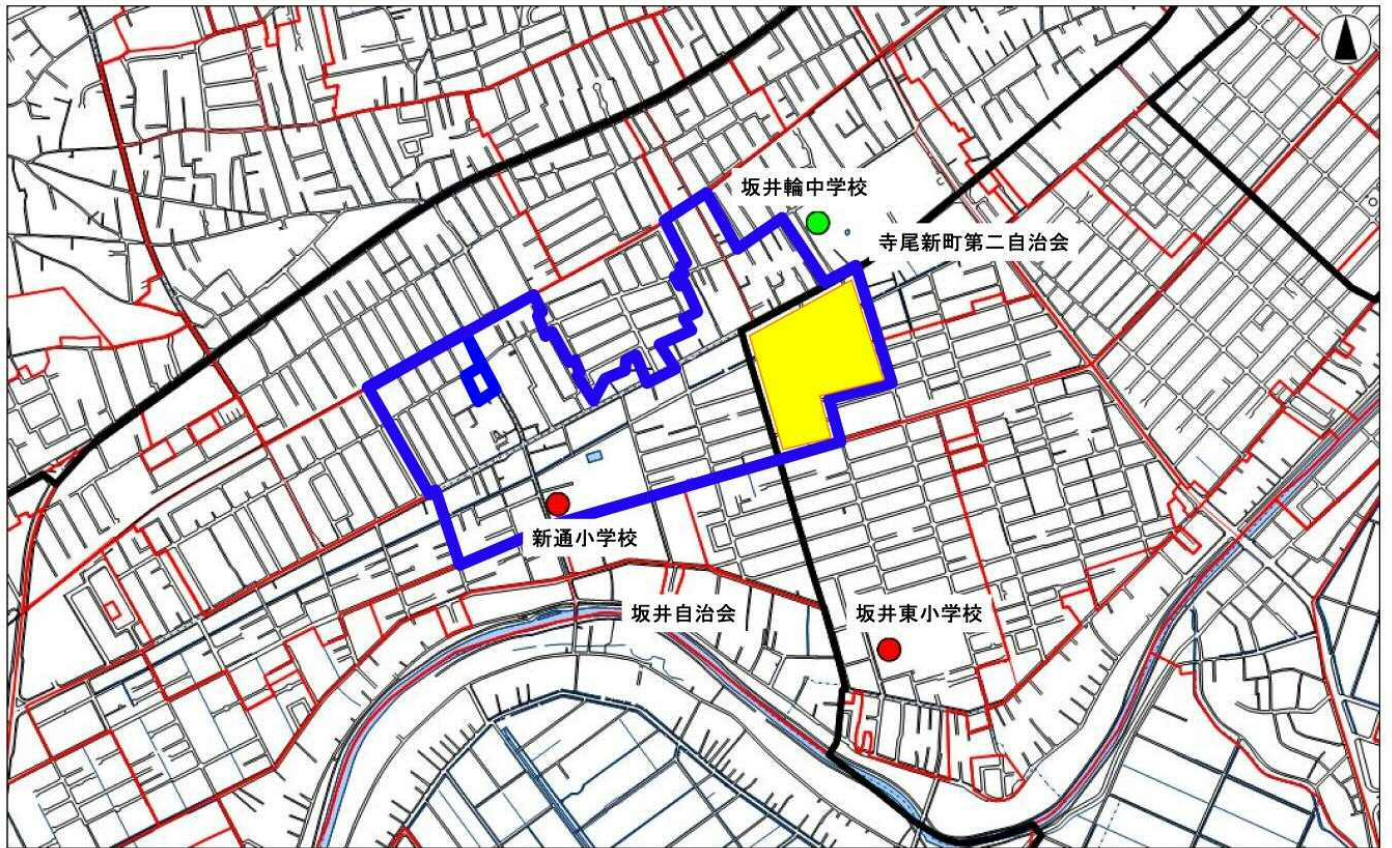
要望事項は妥当と考えられる。本日の協議にて了解が得られたのち、次回定例会にて通学区域変更を付議する。

令和元年度 坂井東小学校／新通小学校／新通つばさ小学校 児童学級数推計

校名	学年	実数値		推計値											
		令和元年度		2		3		4		5		6		7	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
坂井東	1	68	3	65	3	79	3	74	3	62	2	80	3	58	2
	2	84	3	68	3	65	3	79	3	74	3	62	2	80	3
	3	69	3	84	3	68	2	65	2	79	3	74	3	62	2
	4	80	3	69	3	84	3	68	2	65	2	79	3	74	3
	5	54	2	80	3	69	2	84	3	68	2	65	2	79	3
	6	82	3	54	2	80	3	69	2	84	3	68	2	65	2
	計	437	17	420	17	445	16	439	15	432	15	428	15	418	15
新通	1	125	4	88	3	82	3	87	3	88	3	88	3	58	2
	2	169	6	67	3	88	3	82	3	87	3	88	3	88	3
	3	146	5	83	3	67	2	88	3	82	3	87	3	88	3
	4	172	6	76	3	83	3	67	2	88	3	82	3	87	3
	5	167	5	77	3	76	3	83	3	67	2	88	3	82	3
	6	155	5	79	3	77	3	76	3	83	3	67	2	88	3
	計	934	31	470	18	473	17	483	17	495	17	500	17	491	17
新通つばさ	1			70	3	57	2	53	2	50	2	50	2	38	2
	2			58	2	70	3	57	2	53	2	50	2	50	2
	3			86	3	58	2	70	3	57	2	53	2	50	2
	4			70	3	86	3	58	2	70	3	57	2	53	2
	5			95	3	70	2	86	3	58	2	70	2	57	2
	6			88	3	95	3	70	2	86	3	58	2	70	2
	計			467	17	436	15	394	14	374	14	338	12	318	12

変更対象人数

自治会で把握している通学区域変更の対象となる児童は、9名。



1/8856



凡例	
	…小学校区線
	…自治会境界線
	…緑ヶ丘自治会
	…校区変更対象地域

令和元年 6 月 28 日

新潟市教育委員会
教育長 前田秀子 様

新潟市西区寺尾上 6 丁目 5 - 4
新潟市緑ヶ丘自治会
会 長 梶 原 宜 教



通学区域変更のお願い

私共の緑ヶ丘自治会は、昭和 34 年に坂井部落から独立し自治会組織を結成してから 60 年を経て、現在 880 世帯を擁する坂井輪中学校区内で一番大きい自治会ですが、新通小学校から昭和 53 年に分離新設された坂井東小学校が開校することに伴い、当自治会は小学校区が 2 つの学校区に分断されてしまいました。

以降現在まで時代が大きく変化し、地域の安心安全が問われる中で、私どもは時代に沿った自治会活動を活発に行い、地域力を高めてきたところですが、一方で地域での子供会活動や、まつり、見守り活動など、児童を介した自治会事業に対し、児童・生徒間や保護者同志の交流が阻害され、「よそ者感」が芽生えるのか、自治会事業等への参加が少なく、地域同士の交流も阻害される要因となっており、自治会活動に多大な影響を与えているところです。

このたび、さらに新通小学校からつばさ小学校が令和 2 年 4 月に分離新設校として開校し、当坂井輪中学校区内には 3 小学校体制となり、児童数の標準化が図られることになりましたので、この契機に山積する地域の課題解決のために、当自治会が 2 校区に分断されている現状を見直しいただき、新通小学校に通学区を統一することを希望しております。

つきましては、現状の地域課題解決のため、自治会住民の意思確認と地域のまちづくり協議会の支援をいただく中で、自治会住民総意として下記の通り小学校通学区域の変更をお願い申し上げます。

記

1. 通学区変更を希望する地番 (別紙地図参照)
寺尾東 3 丁目 15 番、16 番、同 18 番から 20 番までの緑ヶ丘自治会
2. 変更する学校名と現在の児童数
坂井東小学校から新通小学校 9 名
3. 通学区域変更期日 令和 2 年 4 月 1 日から
4. 通学区域の変更に際して配慮いただきたい事項
①現在坂井東小学校に通学している在籍児童は、当該学校を卒業するまで通学

できること

- ②通学区域の変更後も現在坂井東小学校に在籍通学している児童の弟、妹については、家庭の意思により坂井東小学校に通学できること。

5. 自治会及び地域住民の意思確認経緯

- ①平成30年7月29日 当該通学区の自治会世帯意思確認会議を開催し通学区変更要望を決定
- ②平成30年9月 坂井輪中学校区まちづくり協議会から傘下の同様な複数校区となっている自治会あて通学区の変更要望の有無を確認した結果、変更要望はないことを確認したため自治会独自で要望するもの（別紙まちづくり協議会具申書）
- ③平成31年4月21日 自治会総会にて要望書提案理由説明と決議承認

6. 添付資料

- ①通学区域対象地域地図
- ②緑ヶ丘自治会平成31年度通常総会議事録写し及び総会提出第5号議案書
- ③坂井東小学校区の緑ヶ丘自治会世帯会議案内
- ④通学区変更要望にかかる具申書
- ⑤隣接する寺尾新町第2自治会長の確認承諾書

以上

回 覧

平成30年7月吉日

緑ヶ丘自治会

5班・6班の会員 各位

緑ヶ丘自治会 会長 梶原 宜教
5班班長 小山 美恵子
6班班長 石崎 博

5班・6班全世帯会議の開催について

会員の皆様には日頃から自治会運営にご理解を賜り厚く御礼申し上げます。さて、当自治会の抱える大きな課題として自治会が2つの小学校区に分断されていることがあげられます。

このために、自治会運営での課題や、福祉、民生委員選出の問題、児童間の交流の疎遠など障害と思える問題が多くあり、自治会の大きな課題となっております。

このたび、平成32年4月に新通小学校から分離独立校が開校し、新通小学校の児童数が500人未満となることが予想されることから、この機会を捉え、当自治会で小学校区の見直しについて、新潟市教育委員会あてに要望運動を行いたいと思います。

つきましては、現在坂井東小学校区となっている5班、6班の皆様から全体のご意見と賛否を確認したいので、下記のとおり合同の全世帯会議を開催いたしますので、当日は必ず各世帯からお一人はご出席くださるようお願いいたします。なお、当日は出席者数の把握のため、各班長が出欠を取りますので、欠席される世帯はその旨事前に担当班長あてご連絡くださるよう宜しくお願いいたします。

記

1. 日 時 平成30年7月29日(日) 10時～

2. 会 場 緑ヶ丘自治会館2階和室

(5) 第5号議案 小学校通学区域の変更について

このたび新通小学校から分離新設されるつばさ小学校が来年4月に開校することに伴い、現在の2校に分断されている緑ヶ丘自治会通学区域を新通小学校に統一することとし、自治会として決議する。

教育委員会要望事項

緑ヶ丘自治会5班6班の小学校通学区域を、坂井東小学校から新通小学校に変更する

平成31年度緑ヶ丘自治会通常総会議事録


1. 日時 平成31年4月21日(日)午後1:00
2. 場所 緑が丘自治会館 2階 和室
3. 出席者 平成31年度通常総会出席者名簿に同じ。
4. 議事内容
 1. 開会宣言 司会者森下総務担当副会長より13:02に開会を伝える。
 2. 黙祷 開会に先立ち、昨年度の自治会物故者17名のご冥福をお祈りして黙祷。
 3. 会長挨拶 梶原会長より挨拶。
・少子高齢化で行政サービスが追い付かない現状で自治会の役割についての発言。(一番堀排水、5・6班小学校区等)
 4. 議長選出 新会則第25条により、「議長は総会出席者の中から選出する」の選出方法について森下総務担当副会長より意見を求めたところ、司会者に一任との意見があり森下総務担当副会長より、4班1組渡辺穰氏にお願いする。
 5. 議長挨拶 渡辺氏より議長就任挨拶。
 6. 定足数確認 出席者の定数の確認指示(議長より森下総務担当副会長へ)会則26条
定足数109名に対し、開会直前の集計で本人71名、委任状20名の計91名の出席が確認された旨を報告。過半数を超えており本日の総会は成立する。
 7. 議事録署名人の選出 (議長による指名)会則32条
1班2組 若井 誠 氏 7班1組 木嶋 崇 氏
 8. 議事
 - (1) 第1号議案 平成30年度事業報告について 梶原会長及び各担当部長より報告。
 - (2) 第2号議案 平成30年度会計報告について 中村会計担当副会長より報告。
会計監査報告 栗山会計監査より報告。
議長より1号、2号議案の一括承認を上程、審議の結果、報告の通り拍手を以って承認された。
(3班6組杉山氏より夏祭りについて質問→会長より回答)
 - (3) 第3号議案 平成31年度事業計画(案)について 梶原会長及び各担当部長より報告。
 - (4) 第4号議案 平成31年度収支予算(案)について 中村会計担当副会長より提案。
議長より3号、4号議案の一括承認を上程、審議の結果、報告の通り拍手を以って承認された。
(5班5組池島氏より古紙回収について質問→会長より回答)
(7班8組島田氏より防災訓練等について質問→会長より回答)
 - (5) 第5号議案 坂井東小学校通学区域の変更について 梶原会長より報告。
議長より5号議案を上程、報告の通り拍手を以って承認された。
 - (6) 第6号議案 その他議案の提示はなかった。
 9. 閉会宣言 森下総務担当副会長より14:45閉会を宣言。

この議事録が正確である事を証する為、議事録署名人及び議長が下記に署名捺印する。
平成31年5月13日


議事録署名人 新潟市西区坂井砂山1丁目1番11号

若井 誠 

議事録署名人 新潟市西区坂井東6丁目-2番-21号

木嶋 崇 

議長 新潟市西区寺尾上3丁目9番23号

渡 辺 穰 

会長 新潟市西区寺尾上3丁目10番24号

梶原 宜 敬 


通学区変更要望確認承諾書

新潟市緑ヶ丘自治会内における小学校区について、現行の校区である新通小学校と坂井東小学校区を、新たに新通つばさ小学校が開校するのに合わせて、令和2年4月1日より新通小学校区に統一することを確認し承諾しております。

令和元年6月28日

新潟市西区寺尾上3丁目2番3号6

寺尾新町第2自治会

会長 遠藤 則夫 

通学区変更要望にかかる具申書

このたび、新通小学校からの分離新設校としてつばさ小学校が令和2年4月に開校し、当坂井輪中学校区エリアは三小学校区となり児童数の標準化が図られることになりましたが、このたび当該地域の自治会で通学区が複数校にまたがっているという課題解決のために、対象となる傘下の該当自治会に対し、通学区の変更についての要望の有無を確認した結果、緑ヶ丘自治会が要望書を提出することとなったのでその旨具申します。

なお、他の2自治会は現状通りとする旨自治会長から確認済みです。

令和元年6月吉日

新潟市教育委員会
教育長 前田秀子 様

新潟市西区寺尾上3丁目1-1
坂井輪中学校区まちづくり協議会
会長 梶原 宜教

